使い方の手びき《取扱説明書》

MY LOCK 203S

ご使用前に、この取扱説明書を十分、お読み下さい。
この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに保管して下さい。

安全にご使用いただくために

このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守って下さい。
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告　感電、火災の恐れがあります

1．一般家庭用交流電源100 Vでご使用下さい。
2．以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いて下さい。
　・ミシンのそばを離れるとき
　・ミシンを使用したあと
　・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電、火災、けがの原因となります

1．フットコントローラーの上に物を乗せないで下さい。
2．お客様自身での分解、改造はしないで下さい。
3．ミシンの操作時は、ルーパーカバー、布板などのカバー類を閉じて下さい。
4．ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、ルーパー、メス、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないで下さい。
5．曲がった針はご使用にならないで下さい。
6．縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないで下さい。
7．お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意して下さい。
8．以下のことをするときは、電源スイッチを切って下さい。
　・針、針板、押え、アタッチメント、メスを交換するとき
　・針糸、ルーパー糸をセットするとき
　・電球を交換するとき(電球が冷えてから行って下さい)
　・取扱説明書に記載のあるお手入れを行うとき
9．ミシン、フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お近くの販売店にて点検、修理、調整をお受け下さい。
　・正常に作動しないとき
　・落下などにより破損したとき
　・水に濡れたとき
　・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
　・異常な臭い、音がするとき

ごあいさつ

この度は「ジャノメ・マイロック・203S」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

「ジャノメ・マイロック・203S」は、ジャノメミシンが、70余年の豊かな経験と技術の蓄積から開発した高級ミシンです。

最新の生産技術を備えた工場で、厳しい品質管理を経てお客様にお届け致しました。

品質面でも、サービス面でも安心してお使いいただけるミシンです。末長くご愛用され素敵な手作りライフをお楽しみください。

なお、ご使用に際しましては、この「使い方の手引き」をよくお読みになり、正しくお使いください。

目　次

準　　備

●各部の名まえ……4
●標準付属品……5
●ダストボックス……5
●物入れケース……5
●電源をつなぎましょう……6
●速さの調節のし方……7
●はずみ車の回転方向……8
●布板のあけ方、しめ方……8
●ルーパーカバーのあけ方、しめ方……8
●糸掛けスタンドの位置決め……9
●糸こま押え、糸こまネットのつけ方……9
●針のとりかえ方……10
●押えのあげ方、さげ方……10
●押えのはずし方、つけ方……11
●糸の通し方……12～18
★下ルーパー糸の通し方……13～14
★上ルーパー糸の通し方……15～16
★針糸の通し方……17～18

ふちかがり縫い

●試し縫いをしましょう……19
★縫いはじめ……19
★縫いおわり……19
★つづけて縫うとき……19
●布に適した糸や針を選ぶ目安
《ふちかがり縫い》……20
●糸調子の出し方……21～22
★糸調子器……21
★正しい糸調子……21
★糸調子の目安……21
★糸調子の調節のし方……22
●縫い目あらさ(送り目盛)の調節……23
●押え圧力の調節……23
●上メスの解除……24
●上メスのもどし方……24
●針板の種類……25
●針板の交換……26
●かがり幅(下メス位置)の調節……26

応用縫い

●巻き縫い、ピコ縫い、
細ロック縫い……27～29
●縁飾り縫い……30
●ピンタック……31

ミシンの調整と手入れ

●上メスの交換……32
●切りくずの掃除……33
●送り歯の掃除……33
●電球のとりかえ方……34
●注油のし方……35
●調子がよくないときの直し方……36

●おとり扱いについてのお願い

★より安全のために……

①ミシンを動かしているとき、**針から目をはなさないように**注意し、はずみ車、メス、針などに手を触れないでください。

②つぎのようなときは、**必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

■使用後　■ミシンのそばをはなれるとき

■部品をつけたり、はずしたりするとき

■ミシンの手入れをするとき

③コントローラーの上には物をのせないでください。

④たこ足配線は、危険ですからやめましょう。

★ご使用の前に……

①ほこりや油などで布を汚さないように、使う前にミシンをよくふいてください。

②ミシンのセットや、針板、メス、針を交換するときには、この《使い方の手びき》を見て、正しく、確実にセットしてください。

③ミシンをセットしたら、ルーパーカバーと布板が確実にしめてあることを確認し、実際に縫うものと同じ布や糸でためし縫いをしてみましょう。

★いつまでもご愛用いただくために……

①ほこりや油などの汚れは、水をつけずに、乾いたやわらかい布でふきとります。

＊シンナー、ベンジン、みがき粉は絶対に使用しないでください。

②長時間日光にあてたり、ストーブのそばに置いたりしないでください。

③湿気の多いところはさけてください。

④落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

●修理、調整についてのご案内

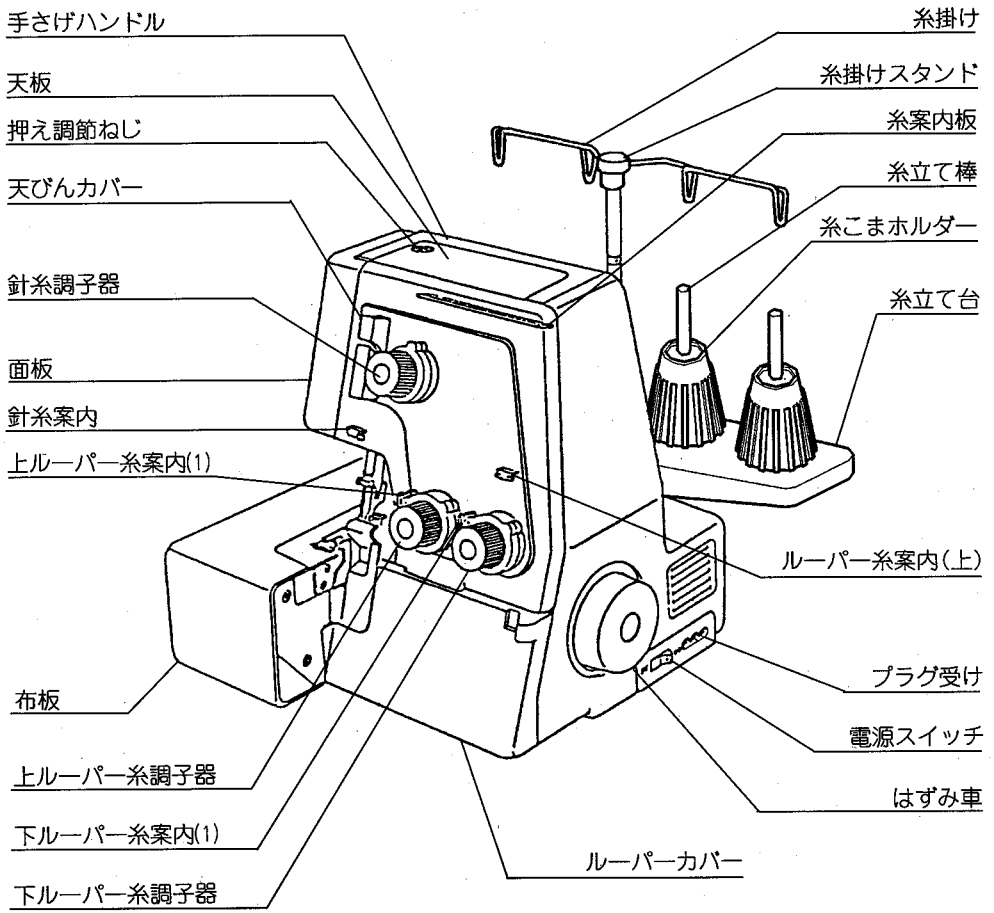
万一不調になったり、故障を生じたときは、「調子がよくないときの直し方」(36ページ) により点検・調整を行なってください。それでも調子が悪いときは、お買い上げいただいた支店、または近くの支店へご連絡ください。

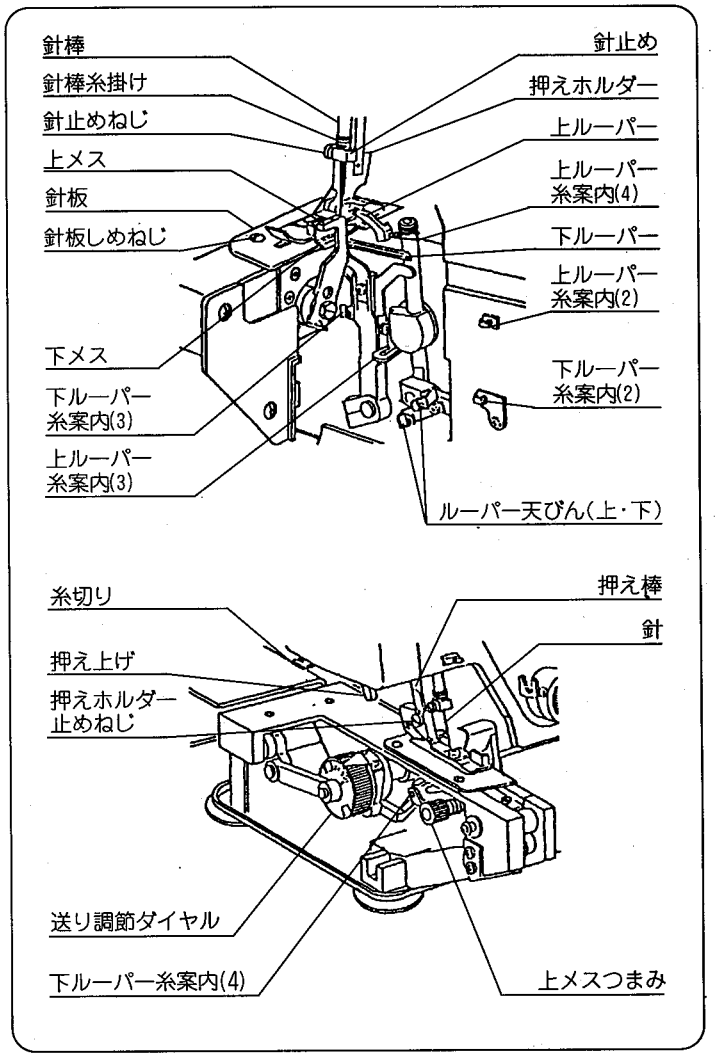
●このミシンは、日本国内用に作られていますので、外国では使用できません。

(This sewing machine can not be used in foreign country as designed for Japan only.)

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

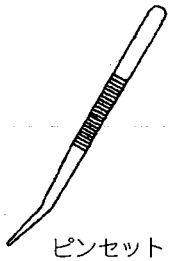
●各部の名まえ

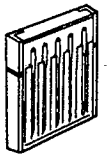

手さげハンドル
天板
押え調節ねじ
天びんカバー
針糸調子器
面板
針糸案内
上ルーパー糸案内(1)
布板
上ルーパー糸調子器
下ルーパー糸案内(1)
下ルーパー糸調子器
糸掛け
糸掛けスタンド
糸案内板
糸立て棒
糸こまホルダー
糸立て台
ルーパー糸案内(上)
プラグ受け
電源スイッチ
はずみ車
ルーパーカバー

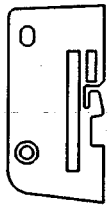

針棒
針棒糸掛け
針止めねじ
上メス
針板
針板しめねじ
下メス
下ルーパー
糸案内(3)
上ルーパー
糸案内(3)
針止め
押えホルダー
上ルーパー
上ルーパー
糸案内(4)
下ルーパー
上ルーパー
糸案内(2)
下ルーパー
糸案内(2)
ルーパー天びん(上・下)
糸切り
押え上げ
押えホルダー
止めねじ
送り調節ダイヤル
下ルーパー糸案内(4)
押え棒
針
上メスつまみ

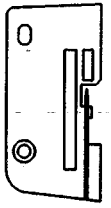
●標準付属品

ねじまわし


ピンセット

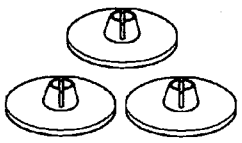

針ケース

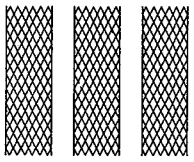

広幅縫い用針板

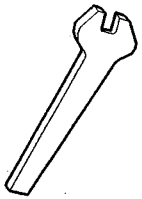

巻き縫い用針板

ブラシ

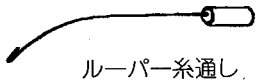
上メス


糸こま押え

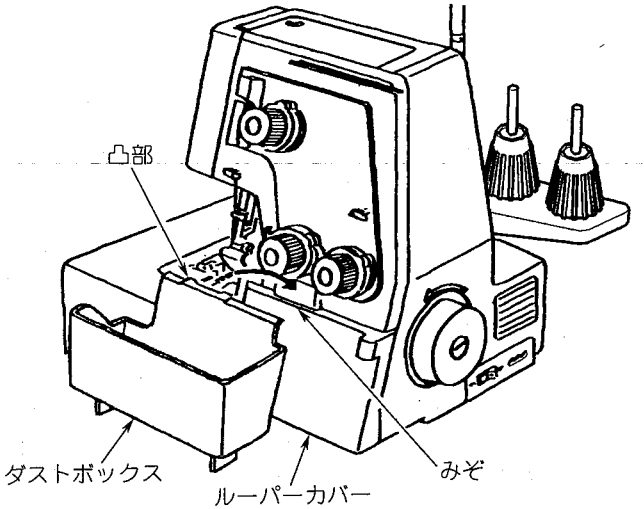

糸こまネット


スパナ

針糸通し

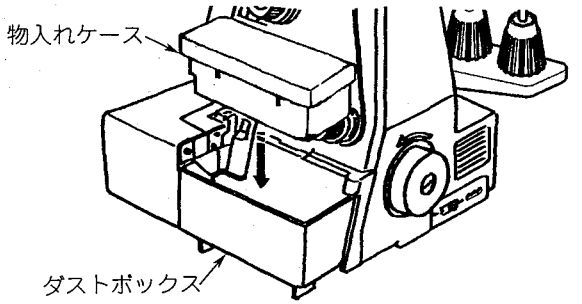

ルーパー糸通し

●ダストボックス



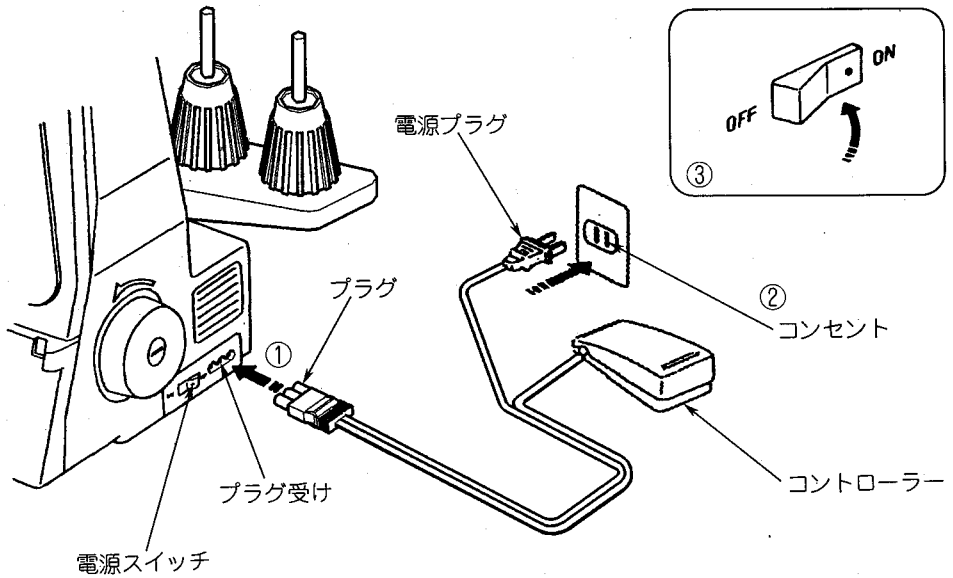
○つけるときは、ルーパーカバーのみぞにダストボックスの凸部を上から合わせてのせ、軽く押しつけます。
○はずすときは、持ちあげます。

●物入れケース



○つけるときは、ダストボックスに物入れケースをおさめます。
○はずすときは、物入れケースを持ちあげます。

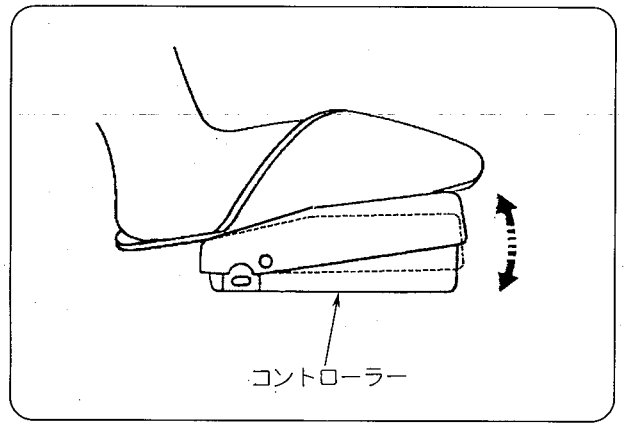
●電源をつなぎましょう



①電源スイッチを「OFF」にして、プラグをプラグ受けにさしこみます。
②電源プラグをコンセントにさしこみます。
③スイッチを「ON」にします。
＊電源は、一般家庭用(100V 50／60Hz)です。
＊ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

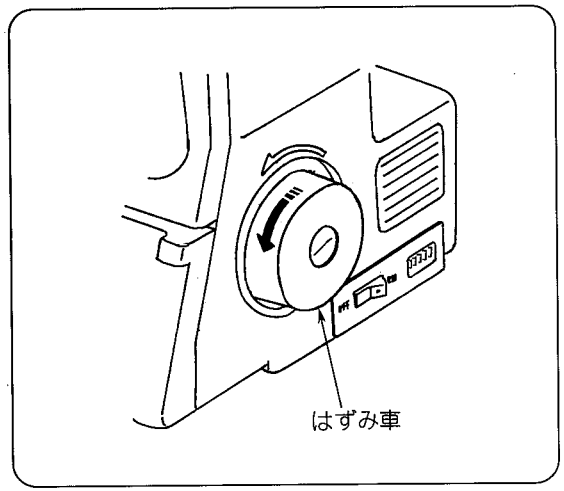
●速さの調節のし方

ミシンの速さは、コントローラーで調節します。



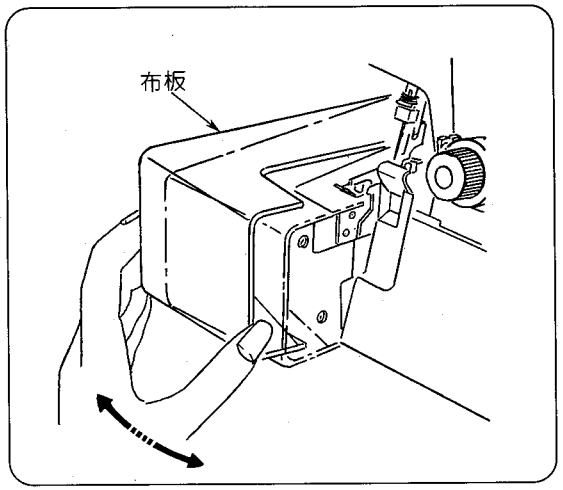
○コントローラーは、深く踏み込むほど速くなります。

●はずみ車の回転方向



○はずみ車は、手前にまわします。
反対方向にまわすと、糸がからんで縫えなくなります。

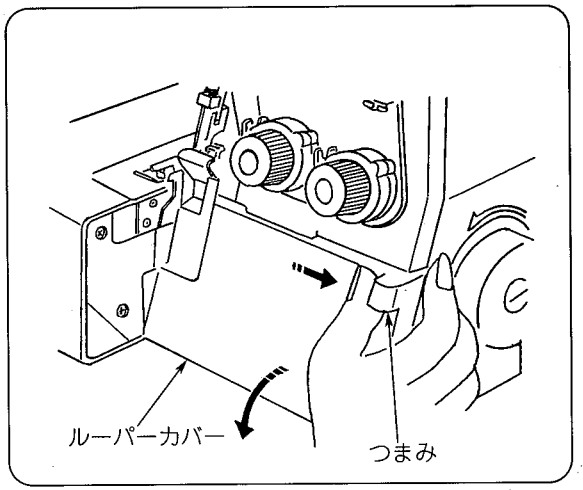
●布板のあけ方、しめ方



★あけ方
左へ押してあけます。

★しめ方
右へ押してしめます。

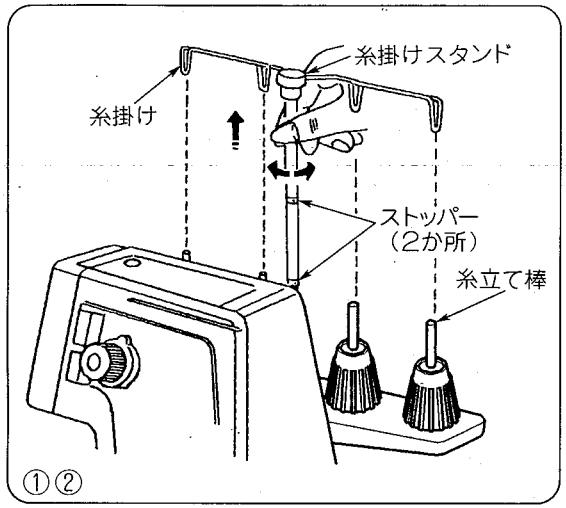
●ルーパーカバーのあけ方、しめ方



★あけ方
つまみを右いっぱいに寄せながら、手前にひきます。

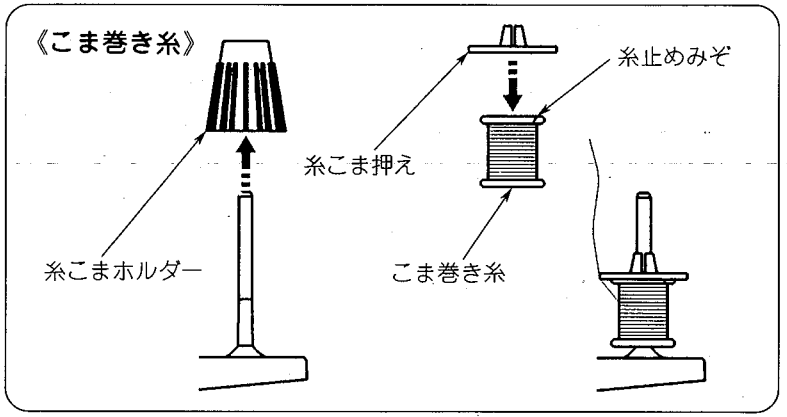
★しめ方
あげて軽く押しつけます。

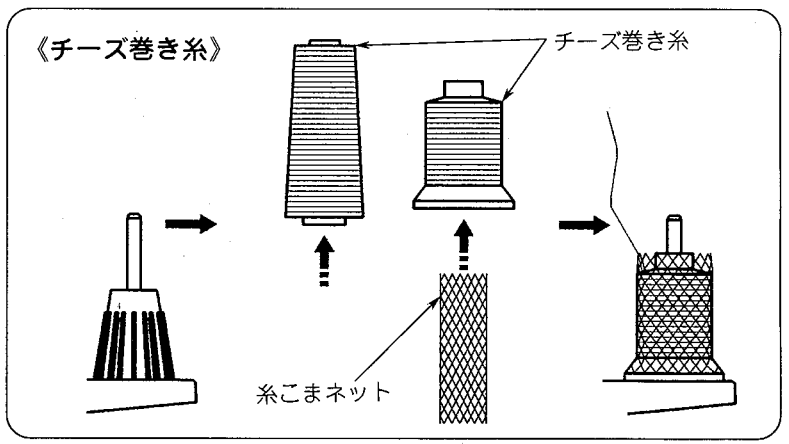
●糸掛けスタンドの位置決め



①糸掛けスタンドをいっぱいに伸ばします。
②糸掛けが糸立て棒の真上にくるように、糸掛けスタンドを回転させて、ストッパーで位置決めします。

●糸こま押え、糸こまネットのつけ方

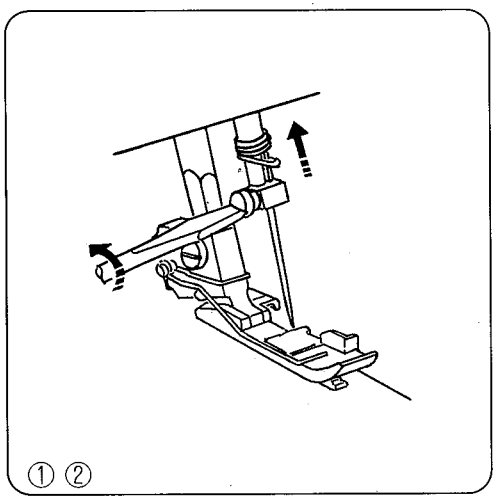




このミシンはこま巻き糸と、チーズ巻き糸が使用できます。

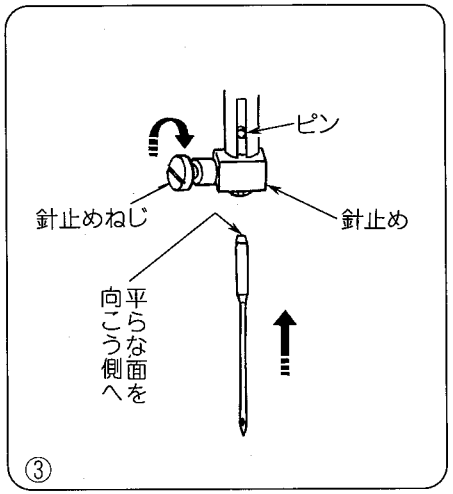
＊こま巻き糸は、糸巻きの糸止めみぞのあるほうを上にして、糸こま押えをはめてください。
＊化繊糸などの巻きがくずれやすい糸を使用するときは、付属の糸こまネットを下からかぶせてご使用ください。

●針のとりかえ方

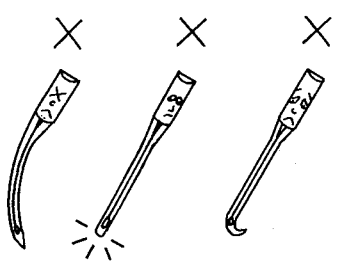


①電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。

②針を上げ、針止めねじをゆるめて、針をはずします。

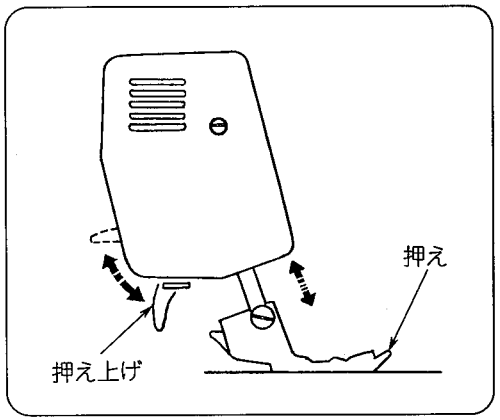


③針の平らな面を向こう側に向けて、奥いっぱいにピンにあたるまで針止めにさしこみ、針止めねじをかたくしめます。



＊全体にまがってしまったものや、針先のつぶれたりまがったりしたものは、使用しないでください。

●押えのあげ方、さげ方



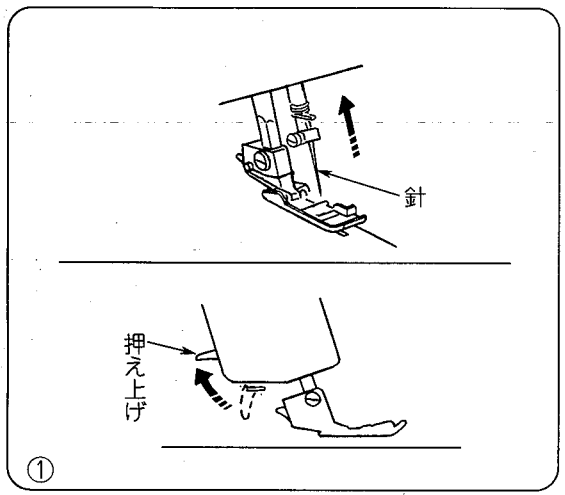
押え上げをあげさげして、押えをあげたり、さげたりします。

＊一般に、糸を通しなおすときと、厚い布を縫うとき以外は、押えをさげたままにして使用します。

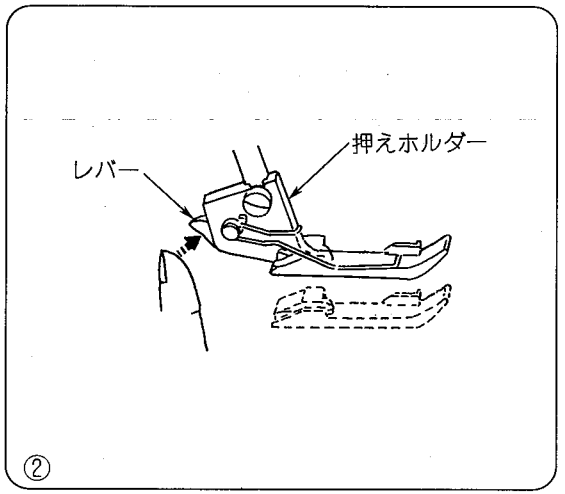
＊押えを上げても、糸調子は、ゆるみません。

●押えのはずし方、つけ方

★はずし方

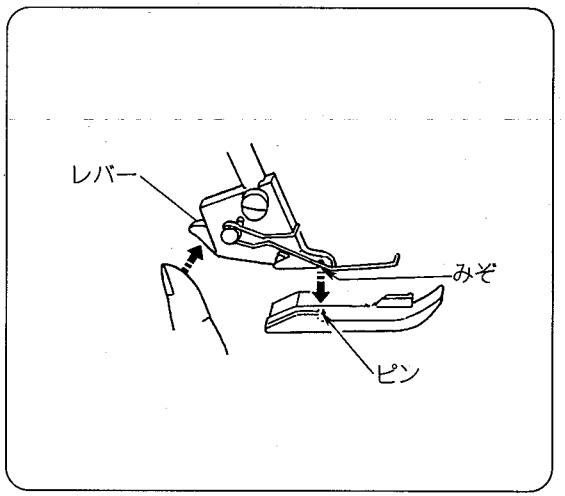


①針をあげ、押え上げをあげます。



②押えホルダーのレバーを押して、押えをはずします。

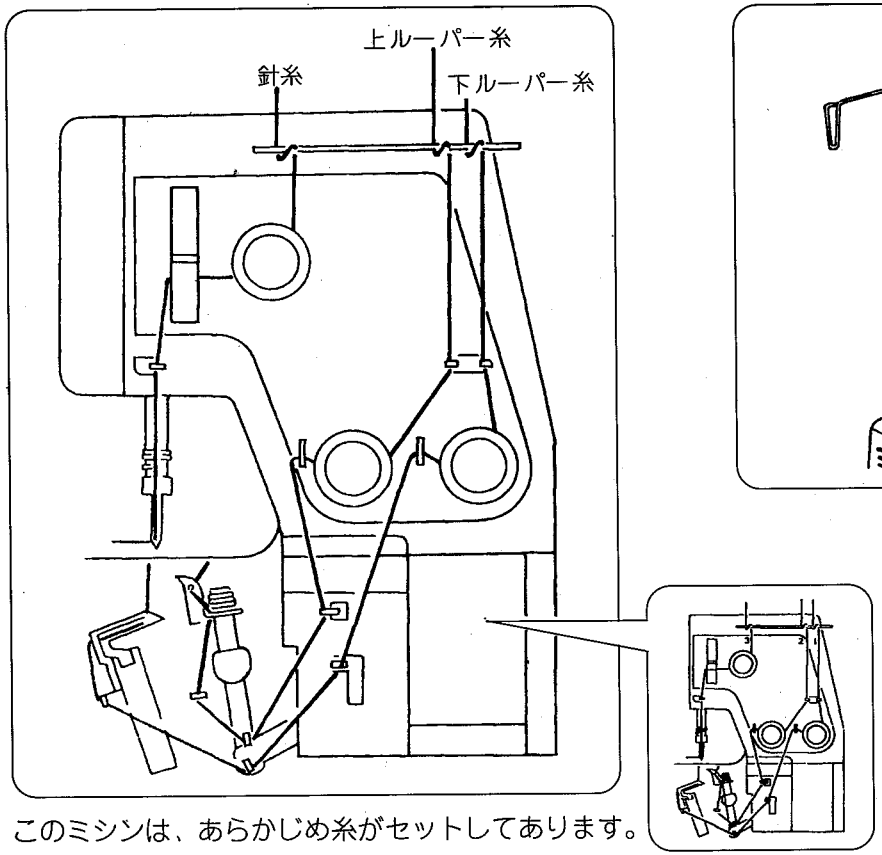
★つけ方



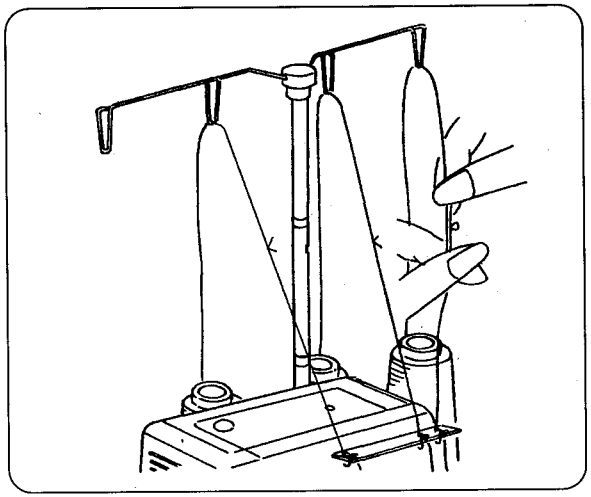
押えのピンを押えホルダーのみぞの真下においてて、押え上げを静かにおろし、レバーを押します。

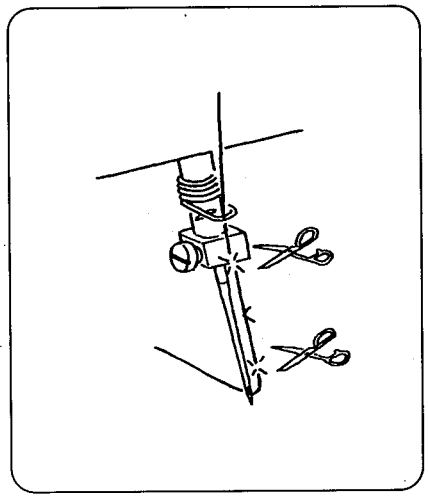
＊押え上げをあげ、押えが確実についているのを確認してください。

●糸の通し方



このミシンは、あらかじめ糸がセットしてあります。ご使用になる糸をセットしてある糸につないで引き出すと、容易に糸が通せます。
また、糸の通し方をまちがえると、目飛びや、糸切れの原因となりますので、正しい順序で糸通しをしてください。
糸は、下ルーパー糸、上ルーパー糸、針糸の順が通しやすいやり方です。

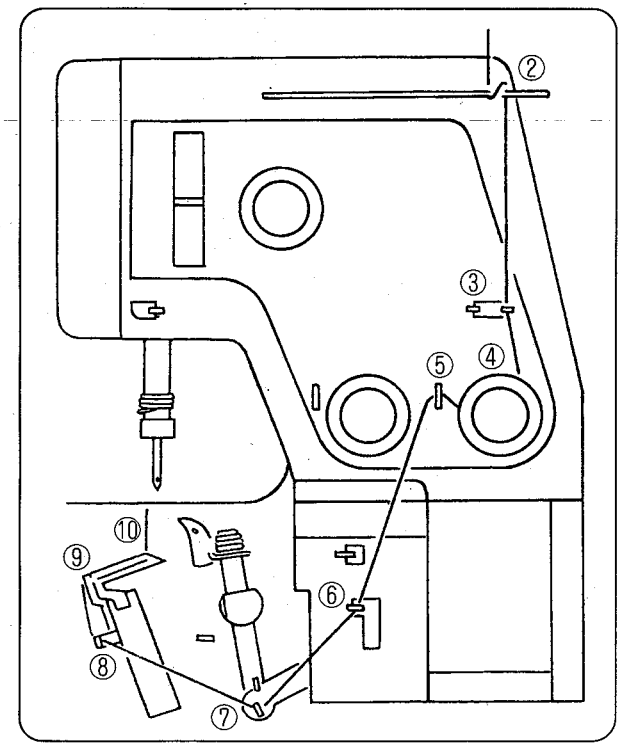




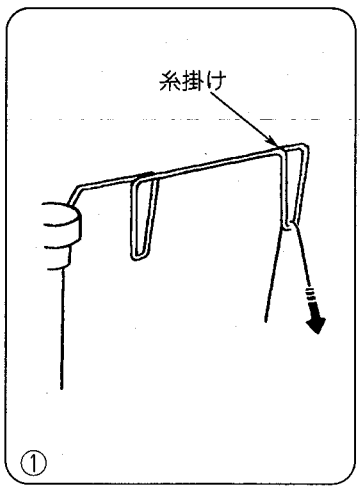
糸こまから引き出した糸を、糸掛けスタンドの糸掛けに通してから、あらかじめミシンにセットしてある糸につないで、押え上げをあげ、結び目が押えの下にくるまで引き出します。ただし、針糸を引き出すときは、針を曲げたり折ったりしないように、結び目を針穴の手前で止め、糸を切って、針糸通しで糸を通してください。

（針糸通しの使い方は、18ページを参照してください。）
＊各糸調子器の目盛りを「0」に合わせておくと、糸が容易に通せます。（21ページを参照してください。）

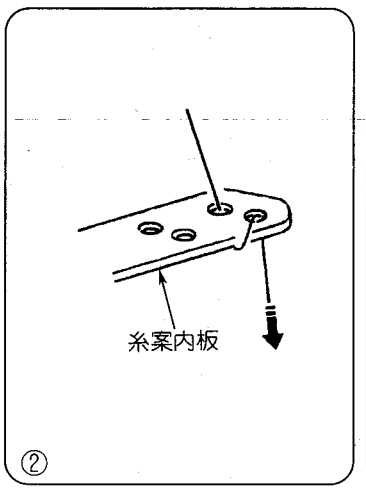
★下ルーパー糸の通し方



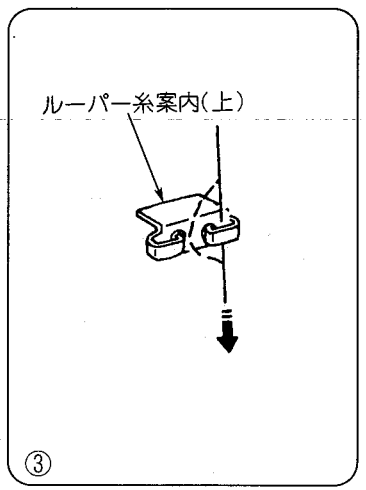
＊緑色マークの糸道を通してください。
＊ルーパーカバーと布板をひらきます。
＊糸道案内図は、ルーパーカバーの内側にあります。



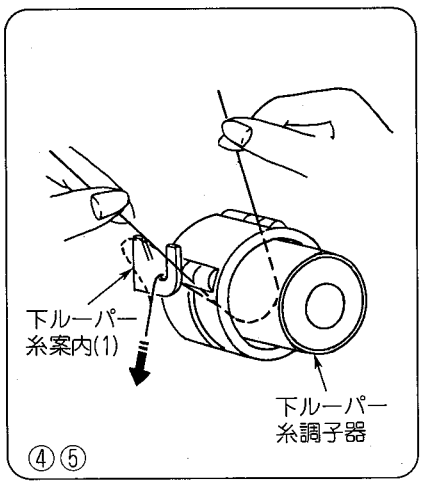
①糸こまから糸を引き出して、右側の糸掛けに掛けます。



②糸案内板の右側の２つの穴に通します。

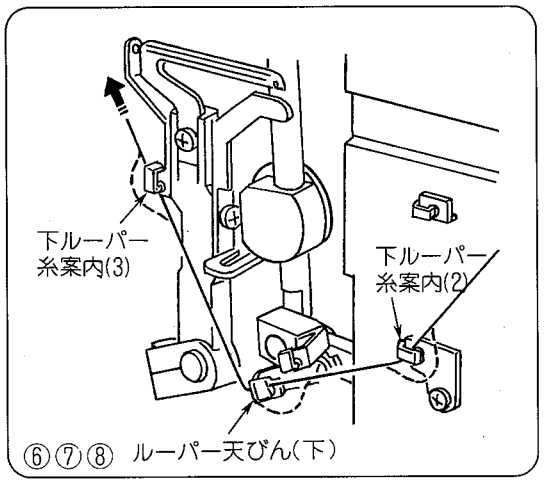


③ルーパー糸案内(上)の右側に掛けます。



④右手で糸を押さえ、左手で糸端をつまんで、下ルーパー糸調子器の下側にまわした糸を、図のように引き上げて、糸調子皿の間に入れます。

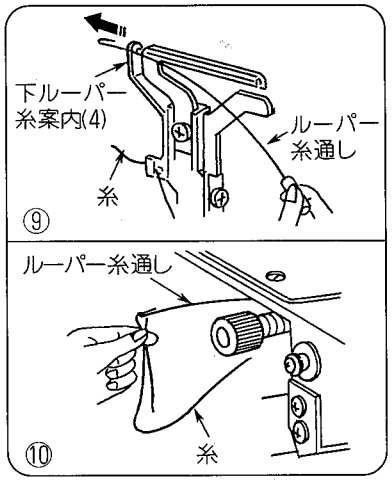
⑤下ルーパー糸案内(1)に掛けます。



⑥下ルーパー糸案内(2)に掛けます。

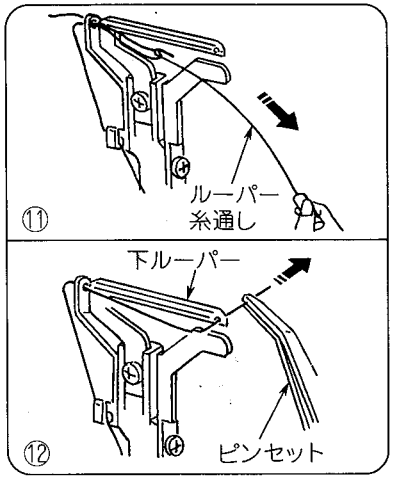
⑦はずみ車を回して、ルーパー天びん(下)を掛けやすい位置にしてから糸を掛けます。

⑧下ルーパー糸案内(3)に掛けます。



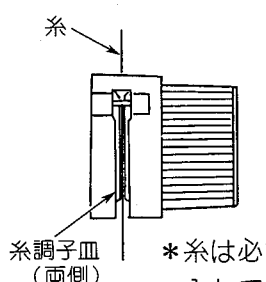
⑨ルーパー糸通しを、下ルーパー糸案内(4)の穴に通します。

⑩ルーパー糸通しの先端に糸ループを引っ掛けます。



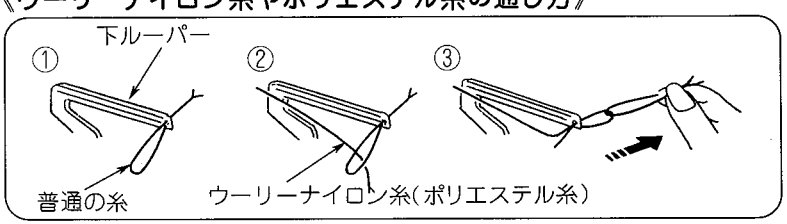
⑪ルーパー糸通しを引きもどして、糸を下ルーパー糸案内(4)に通します。

⑫下ルーパーの穴に糸を通し、糸端をピンセットで引き出します。糸端は、押えの下から向こう側に10cmほど引き出しておきます。



＊糸は必ず糸調子皿の間に入れてください。

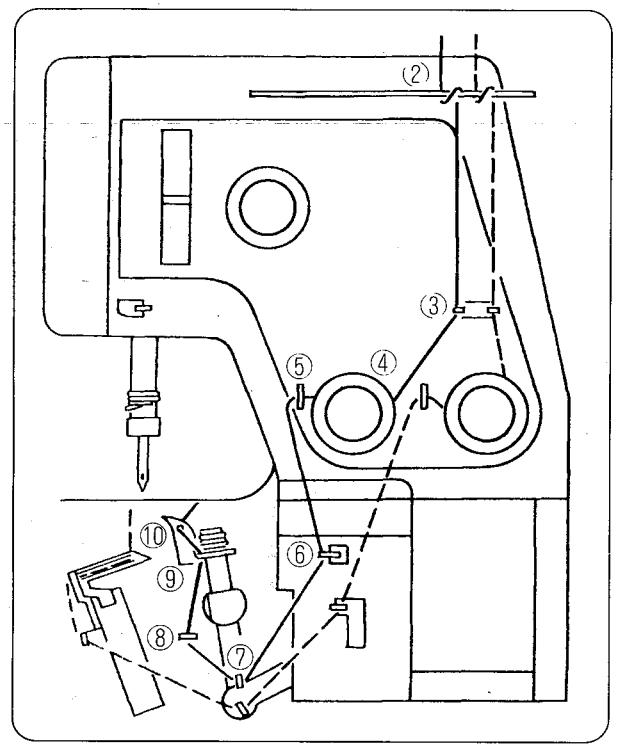
《ウーリーナイロン糸やポリエステル糸の通し方》



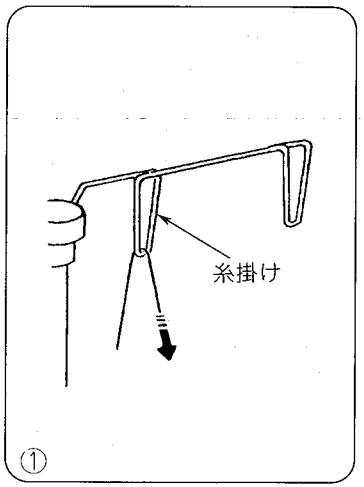
○下ルーパーの穴に通しにくいウーリーナイロン糸やポリエステル糸などは、上図の方法で通します。

＊上ルーパーの場合にも、同じ方法で糸通しをしてください。

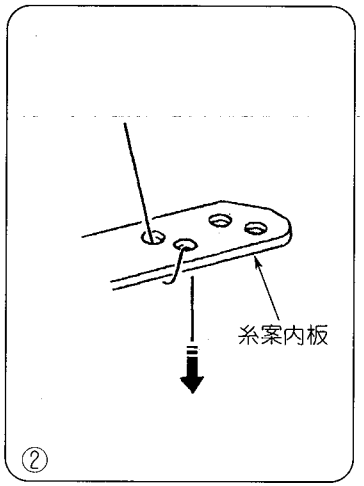
★上ルーパー糸の通し方



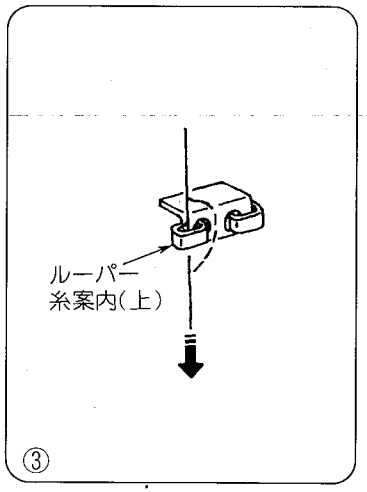
＊青色マークの糸道を通してください。
＊ルーパーカバーと布板をひらきます。
＊糸道案内図は、ルーパーカバーの内側にあります。



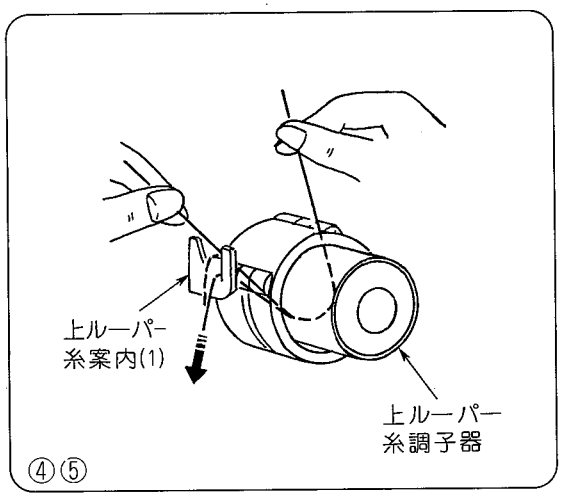
①糸こまから糸を引き出して、右から2番目の糸掛けに掛けます。



②糸案内板の中側の2つの穴にとおします。

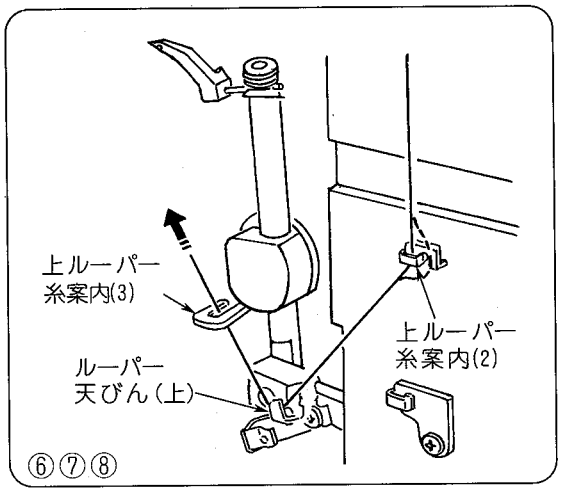


③ルーパー糸案内(上)の左側に掛けます。



④右手で糸を押えて、左手で糸の先端を引き、上ルーパー糸調子器の糸調子皿の間に入れます。

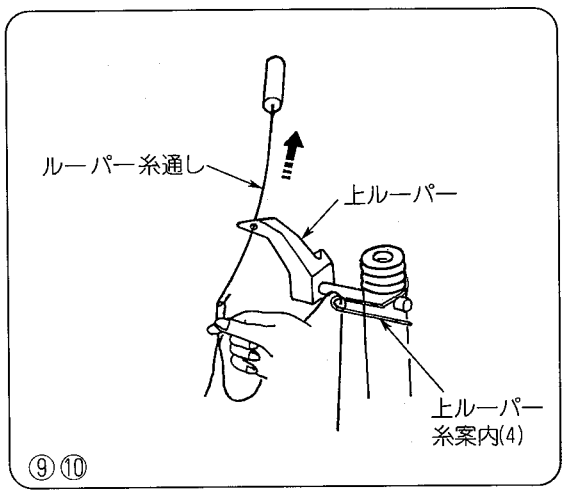
⑤上ルーパー糸案内(1)に掛けます。



⑥上ルーパー糸案内(2)に掛けます。

⑦はずみ車を回してルーパー天びん(上)を掛けやすい位置にしてから、糸を掛けます。

⑧上ルーパー糸案内(3)に掛けます。

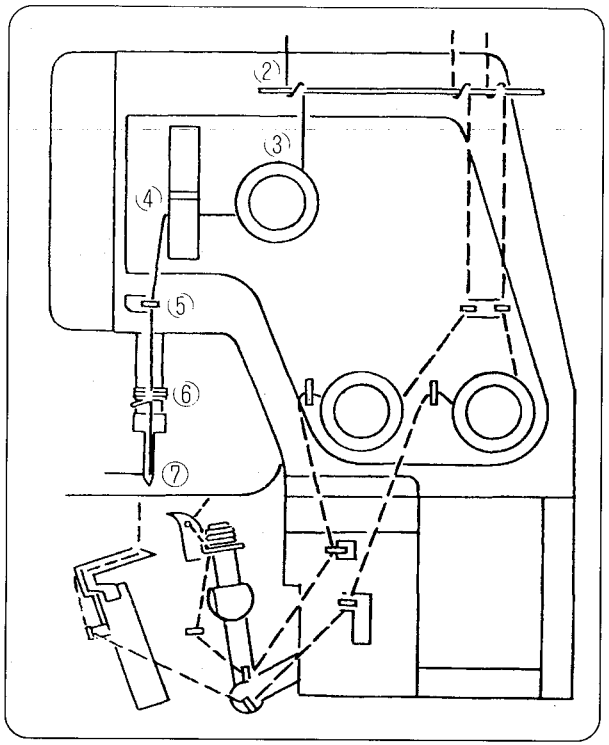


⑨上ルーパー糸案内(4)に掛けます。

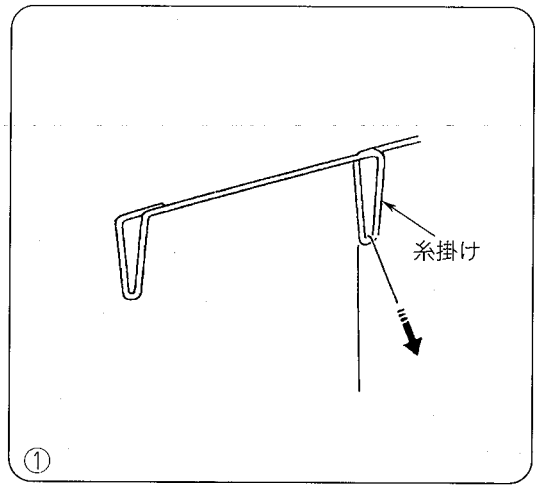
⑩ルーパー糸通しを上ルーパーの穴に通して、糸通しの先端に糸ループを引っ掛けて引きもどします。

ルーパー糸通しをはずし、糸端を押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。

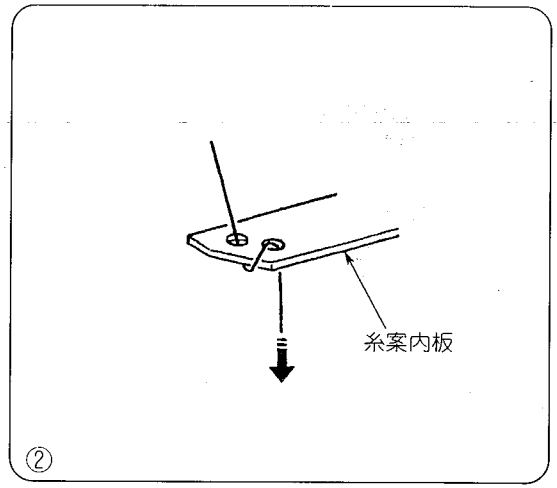
★針糸の通し方



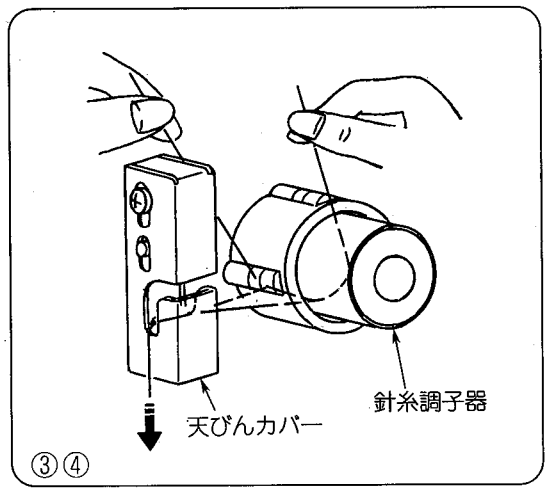
＊赤色マークの糸道を通してください。
＊ルーパーカバーを開きます。
＊糸道案内図は、ルーパーカバーの内側にあります。

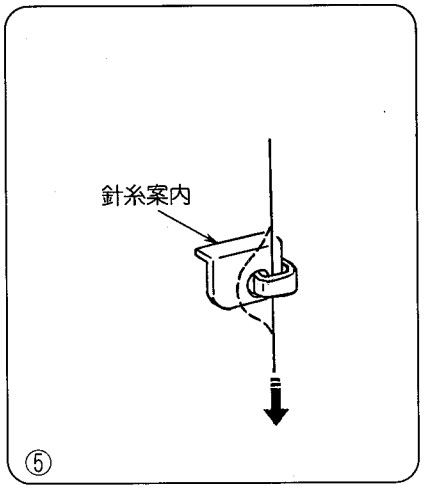


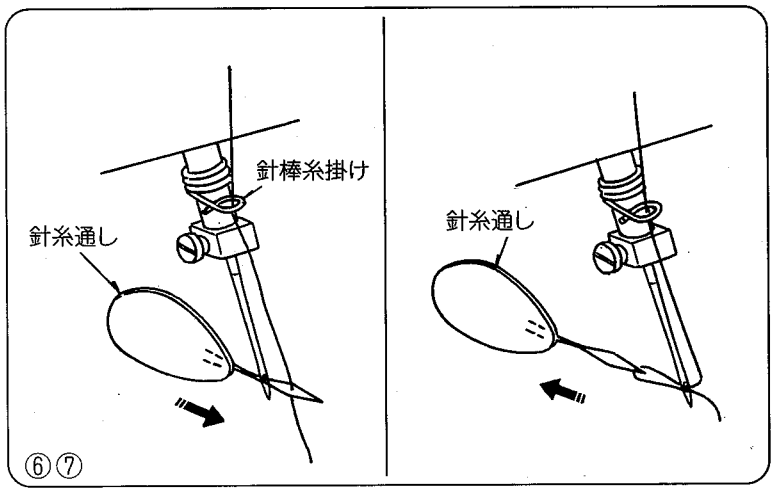
①糸こまから引き出した糸を、左から2番目の糸掛けに掛けます。



②糸案内板の左側の２つの穴に通します。







③右手で糸を押さえ、左手で糸の端を引いて、針糸調子器の糸調子皿の間に入れます。

④はずみ車を回して針を最上部にあげ、天びんカバーに糸を掛けます。

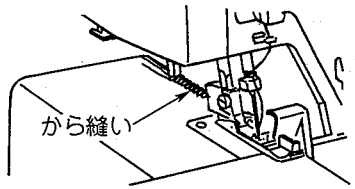
⑤針糸案内に掛けます。

⑥針棒糸掛けに掛けます。

⑦針糸通しを針の針穴に通します。次に、糸を糸通しのループに通し、糸通しを引きもどします。
針糸通しをはずし、糸端を押えの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。

●試し縫いをしましょう

★縫いはじめ

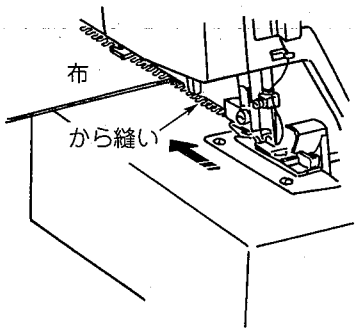


①②

①押え上げをさげます。

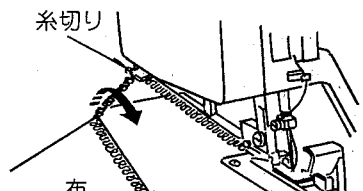
②3本の糸を押えの下から後方に引きそろえて、ゆっくり縫いはじめ、5～6cmから縫いをします。
から縫いした糸のからみぐあいを確かめてから、布をセットして縫いはじめます。(押えをあげる必要はありません。)
布は自動的に送られますから、手は、布地を縫いたいと思う方向に導くだけにしてください。

★縫いおわり



①

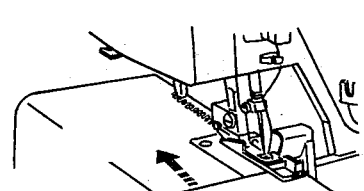
①布端まで縫いおわったら、そのままミシンを低速で回し、約12cmから縫いをします。



②

②布の端より2～3cm残し、から縫いをした糸を糸切りかはさみで切ります。

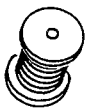
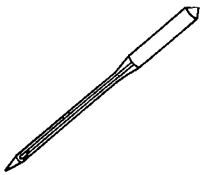
★つづけて縫うとき



○押え上げをあげずに、つぎの布地を押えの下に差し込むようにして縫います。

＊厚い布を縫うときは、押え上げをあげ、布地を上メスの手前まで差し入れ、押え上げをさげて縫います。

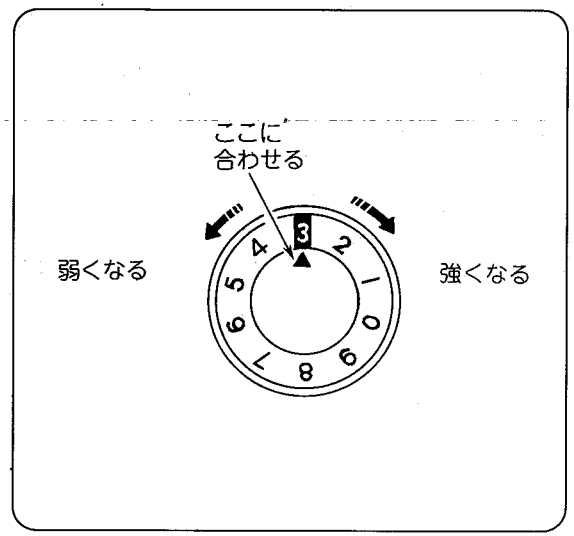
●布に適した糸や針を選ぶ目安《ふちかがり縫い》

布の種類		糸 	針 	かがり幅	縫い目のあらさ（送り目盛）
うすい布	オーガンジー、ジョーゼット、ローン、クレープデシン、洋服裏地	化繊糸　80番～100番	HAx1SP針 11番	3.5mm	2～3
普通の布	木綿地、リンネル、サテン、一般服地	化繊糸　60番～100番	HAx1SP針 11～14番	3.5mm	2.5～3.5
厚い布	ツィード、コート地、デニム、ドスキン、厚手服地	化繊糸　50番～60番	HAx1SP針 14番	3.5または 5.0mm	3～4
ニット地	メリヤス、編地	化繊糸　60番～90番 ウーリーナイロン糸 （ルーパー糸用）	HAx1SP針 11～14番	3.5または 5.0mm	2.5～3.5

＊縫い目のあらさとかがり幅の調整方法は、23～26ページを参照してください。

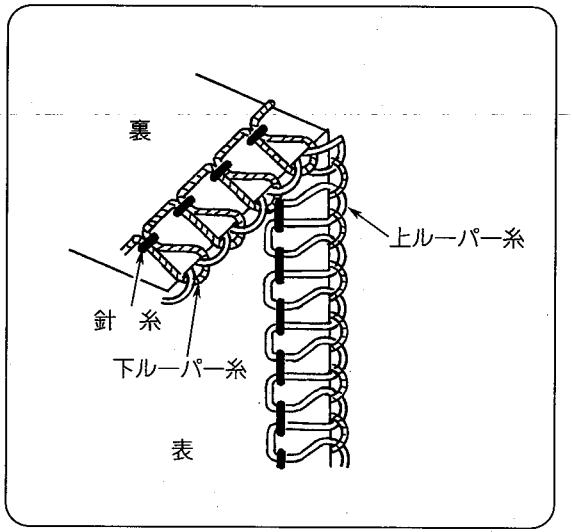
●糸調子の出し方

★糸調子器

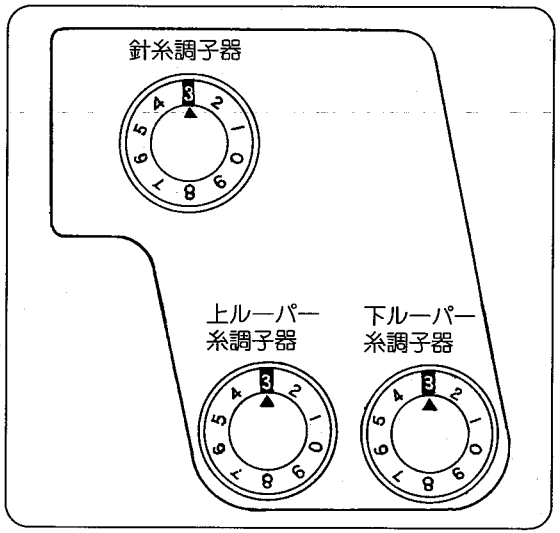


○糸調子器の数字の大きい方へ回すと強くなり、数字の小さい方へ回すと弱くなります。

★正しい糸調子



★糸調子の目安



○糸調子の目安は、布地の種類や糸の太さ、種類によって多少の調整を必要とすることがありますので、縫い目を見ながらそれぞれの糸調子器で調整してください。

〈糸調子の出し方〉

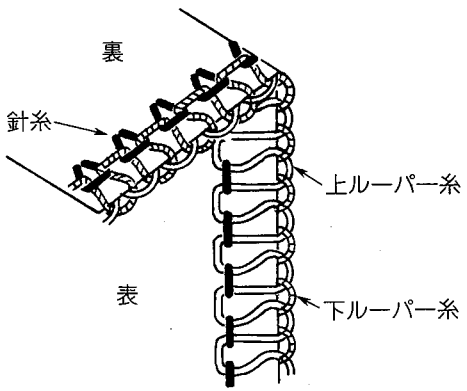
①針糸、上ルーパー糸、下ルーパー糸の各糸調子は、目盛「3」を基準にして試し縫いをします。

②糸調子のバランスがとれていないときには、22ページを参照して正しく調整してください。

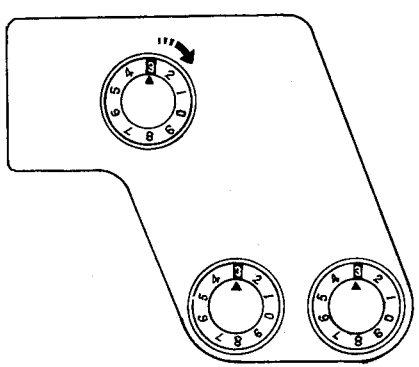
★糸調子の調節のし方

＊針糸、上ルーパー糸、下ルーパー糸の3つの糸調子は、目盛「3」を基準に試し縫いをして正しく調節してください。

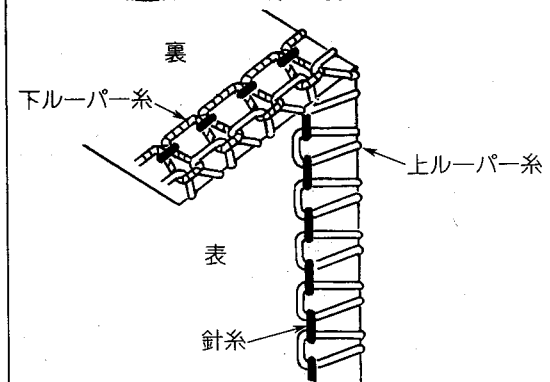
《針糸が弱いとき》



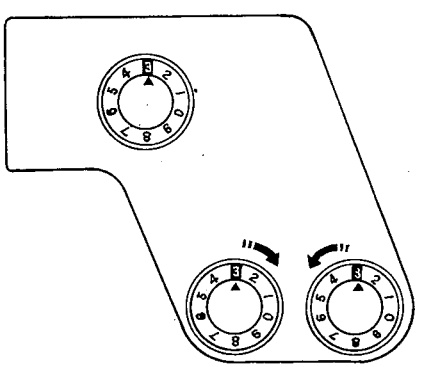
針糸調子を強くします。



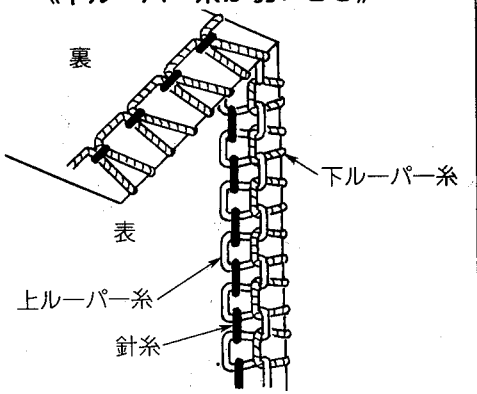
《下ルーパー糸が強いか、上ルーパー糸が弱いとき》



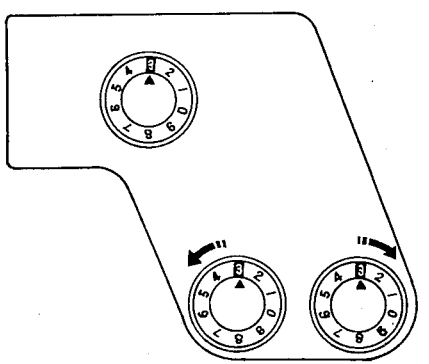
下ルーパー糸調子を弱くする。または、
上ルーパー糸調子を強くする。



《上ルーパー糸が強いか、下ルーパー糸が弱いとき》

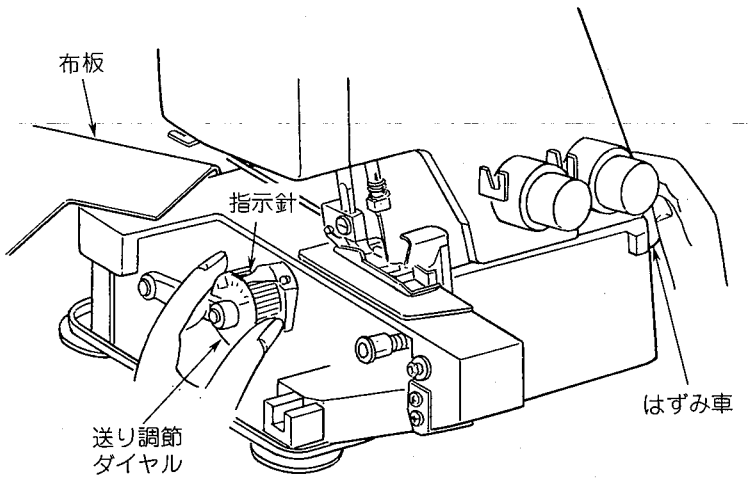


上ルーパー糸調子を弱くする。または、
下ルーパー糸調子を強くする。



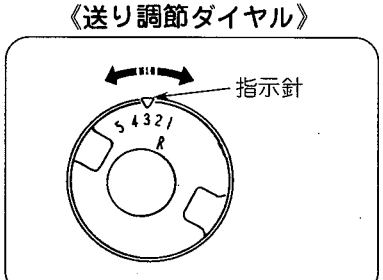
＊最初に針糸から調節してください。

●縫い目あらさ（送り目盛）の調節

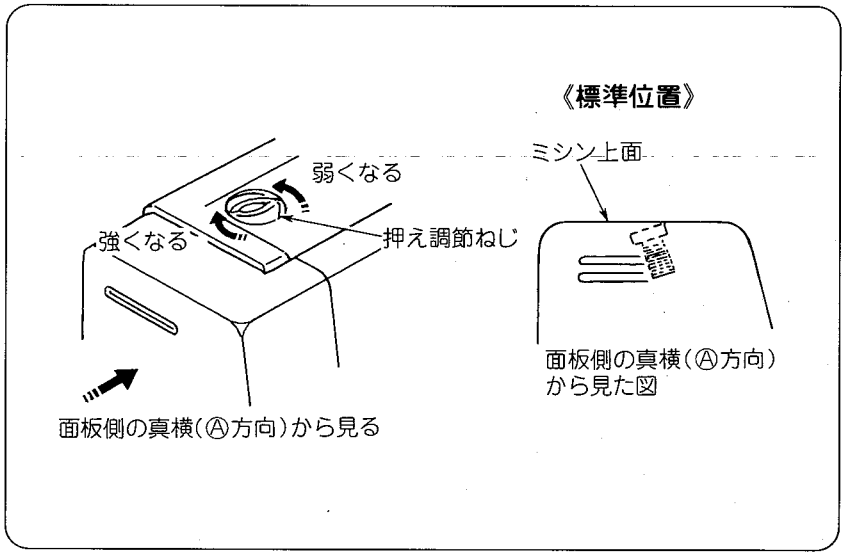


①電源スイッチを切り、布板をひらきます。
②左手で送り調節ダイヤルを保持し、右手ではずみ車を回して指示針を動かし、縫いの種類に応じて送り目盛を選びます。
＊このミシンの縫い目のあらさは、送り目盛「3」にセットされています。
③調節が終わったら、布板をしめます。

《送り調節ダイヤル》



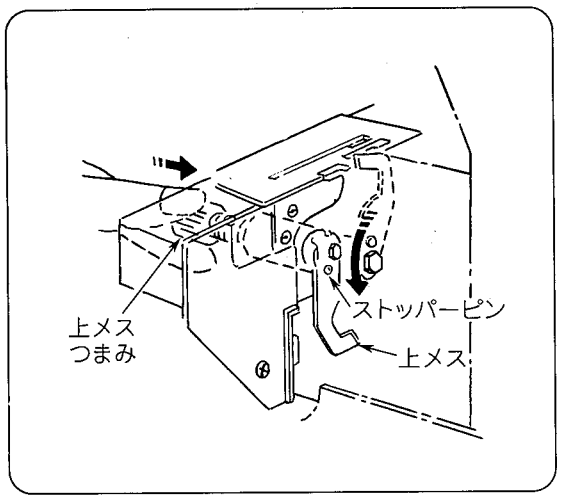
●押え圧力の調節



このミシンは、通常押え圧力を調節する必要はありませんが、極うすもの、極厚もののとき押え調節ねじで調節してください。
○極うすもののときは、圧力を弱くします。
○極厚もののときは、圧力を強くします。

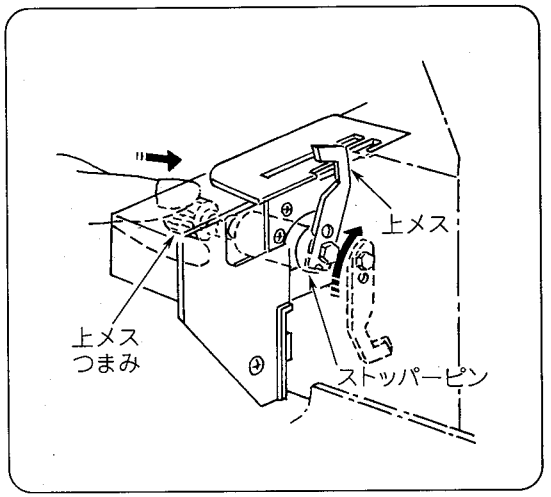
＊縫いおわったら、押え調節ねじは標準位置にもどしておいてください。
押え調節ねじの標準位置は、ミシンの上面と同じ高さになったときで、面板側の真横（Ⓐ方向）から見て、ねじがかくれるかかくれないかぐらいのところにあります。

●上メスの解除



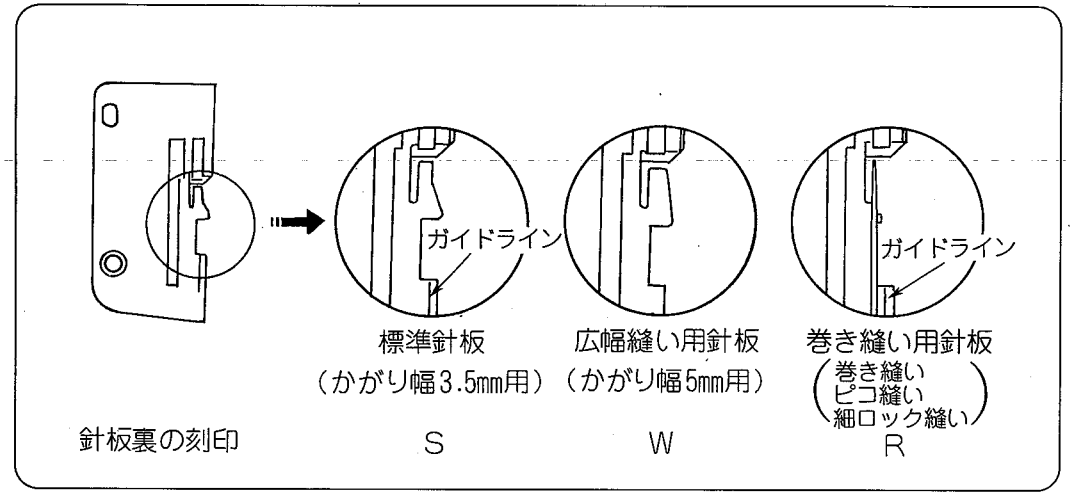
①電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。
②ルーパーカバーと布板をひらきます。
③上メスつまみを右いっぱいに押しながら、手前に回してストッパーピンを上メスの穴に入れます。
④ルーパーカバーと布板をしめます。

●上メスのもどし方



①電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。
②ルーパーカバーと布板をひらきます。
③上メスつまみを右へいっぱいに押しながら、上に回してストッパーピンを上メスの下に入れます。
④ルーパーカバーと布板をしめます。

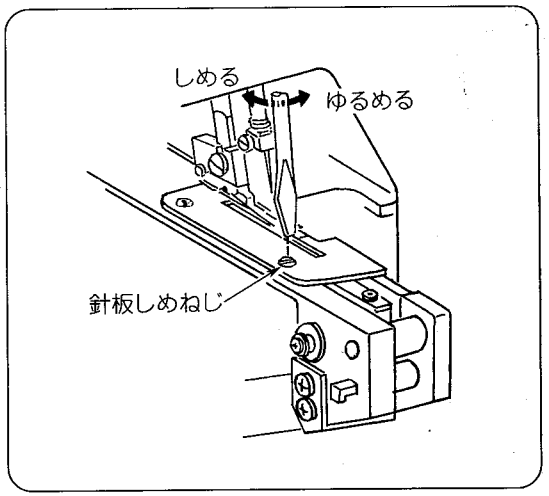
●針板の種類



○針板は3種類ありますので、用途に応じて取りかえてください。
○標準針板は、ミシンに取りつけてあります。

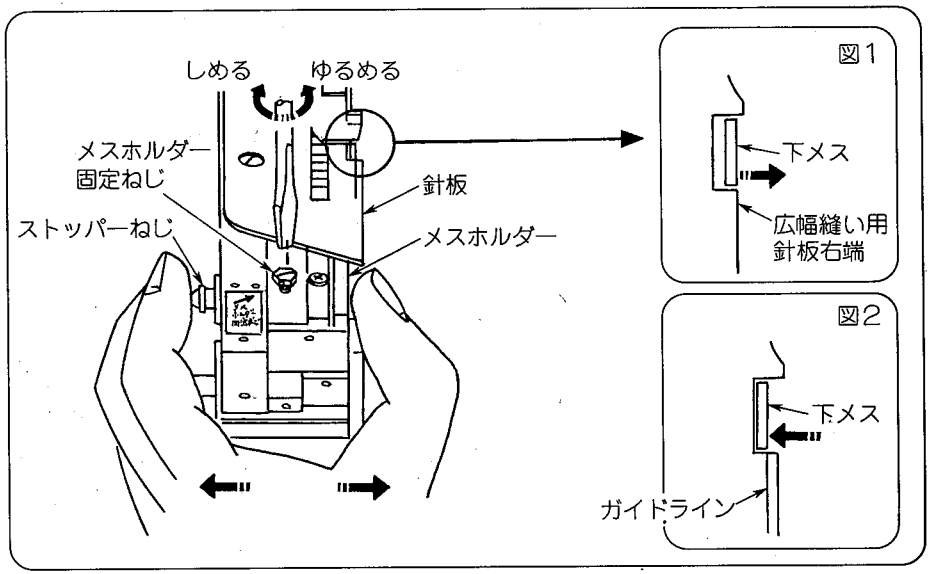
＊針板の交換とかがり幅の変更をするときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから、電源プラグを抜いてください。

●針板の交換



①はずみ車を回して針を上げ、押え上げを上げて、押えをはずします。
②ルーパーカバーと布板をひらきます。
③上メスを解除します。(24ページを参照してください。)
④針板しめねじをゆるめ、針板をはずします。
⑤用途に適した針板をとりつけ、針板しめねじをしめます。
⑥上メスをもとにもどします。
(24ページを参照してください。)
⑦ルーパーカバーと布板をしめます。
⑧押えをつけて押え上げをさげます。

●かがり幅(下メス位置)の調節

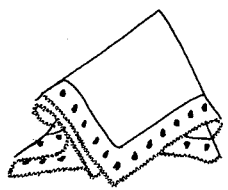


①ルーパーカバーと布板をひらきます。
②上メスを解除します。(24ページを参照してください。)
③針板を交換します。(「針板の交換」を参照してください。)
④メスホルダー固定ねじをゆるめます。
⑤ストッパーねじとメスホルダーをもって左右に動かし、かがり幅(下メスの位置)を調節します。
＊5㎜かがり幅に変更するときは、メスホルダーを右によせて、下メスと広幅縫い用針板右端とを合わせます。(図1)
＊3.5㎜かがり幅か、あるいは巻き縫いに変更するときは、メスホルダーを左によせて、下メスと標準針板か巻き縫い用針板のガイドラインを合わせます。(図2)
⑥メスホルダー固定ねじをしめます。
⑦上メスをもとの位置にもどします。(24ページを参照してください。)
ルーパーカバーと布板をしめて、押え上げを下げます。
＊このミシンのかがり幅は、3.5㎜(標準)に合わせてあります。
縫いの種類に応じてかえてください。

●巻き縫い、ピコ縫い、細ロック縫い

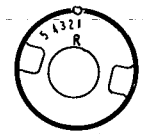
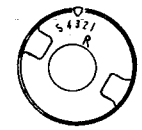
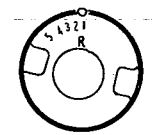
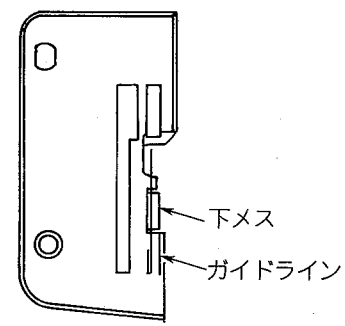
〈実用例〉

フリルのふちかがり



ハンカチのふちどり

★ミシンのセット

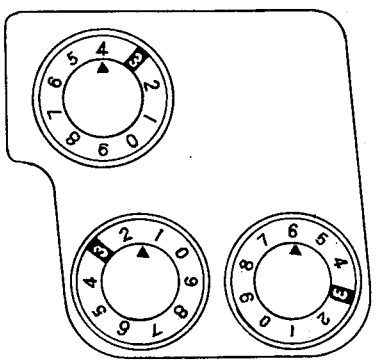
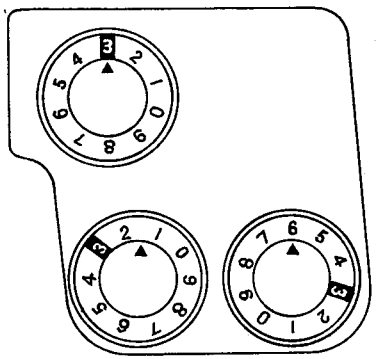
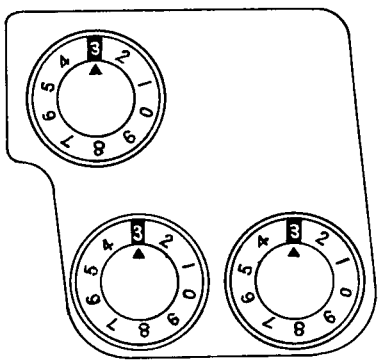
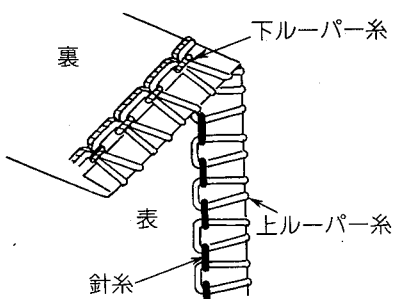
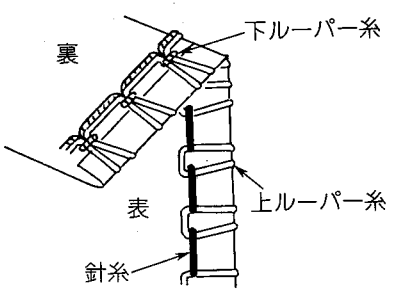
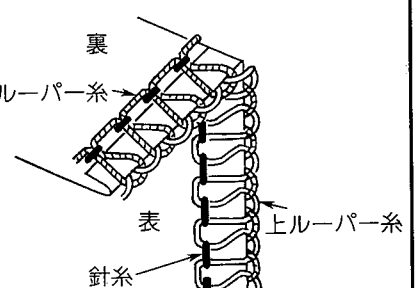
	巻き縫い	ピコ縫い	細ロック縫い
縫い目のあらさ（送り目盛）	 （R）	 （3～4）	 （R）
針板	 巻き縫い用針板（針板裏の刻印：R）		

下メスの右側は、針板のガイドラインに一致します。

＊針板の交換は、26ページを参照してください。

★布と糸の種類と糸調子の目安

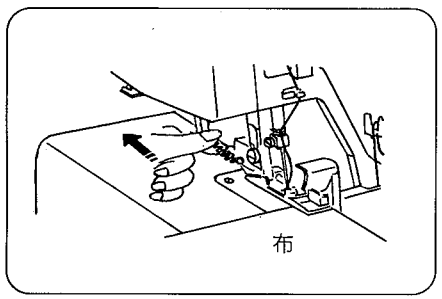
糸調子の目安は、布地の種類や糸の太さ、種類によって多少の調整を必要とすることがありますので、縫い目を見ながら各糸調子器で調整してください。

		巻き縫い	ピコ縫い	細ロック縫い
うすい布 オーガンジー、クレープデシン、ローン、ジョーゼット	針糸	化繊糸　80番～100番		
	上ルーパー糸	ウーリーナイロン糸	化繊糸　60番～100番	ウーリーナイロン糸
	下ルーパー糸			
	針	HAx1SP針　11番		
	糸調子の目安			
	正しい糸調子			

★糸調子の出し方

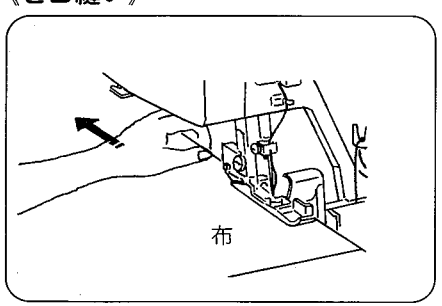
①各糸調子を28ページに示した「糸調子の目安」に合わせます。
②試し縫いをします。

《巻き縫い》



○縫いはじめは、から縫いされた糸を指で少し引きぎみにして縫うときれいに仕上がります。

《ピコ縫い》

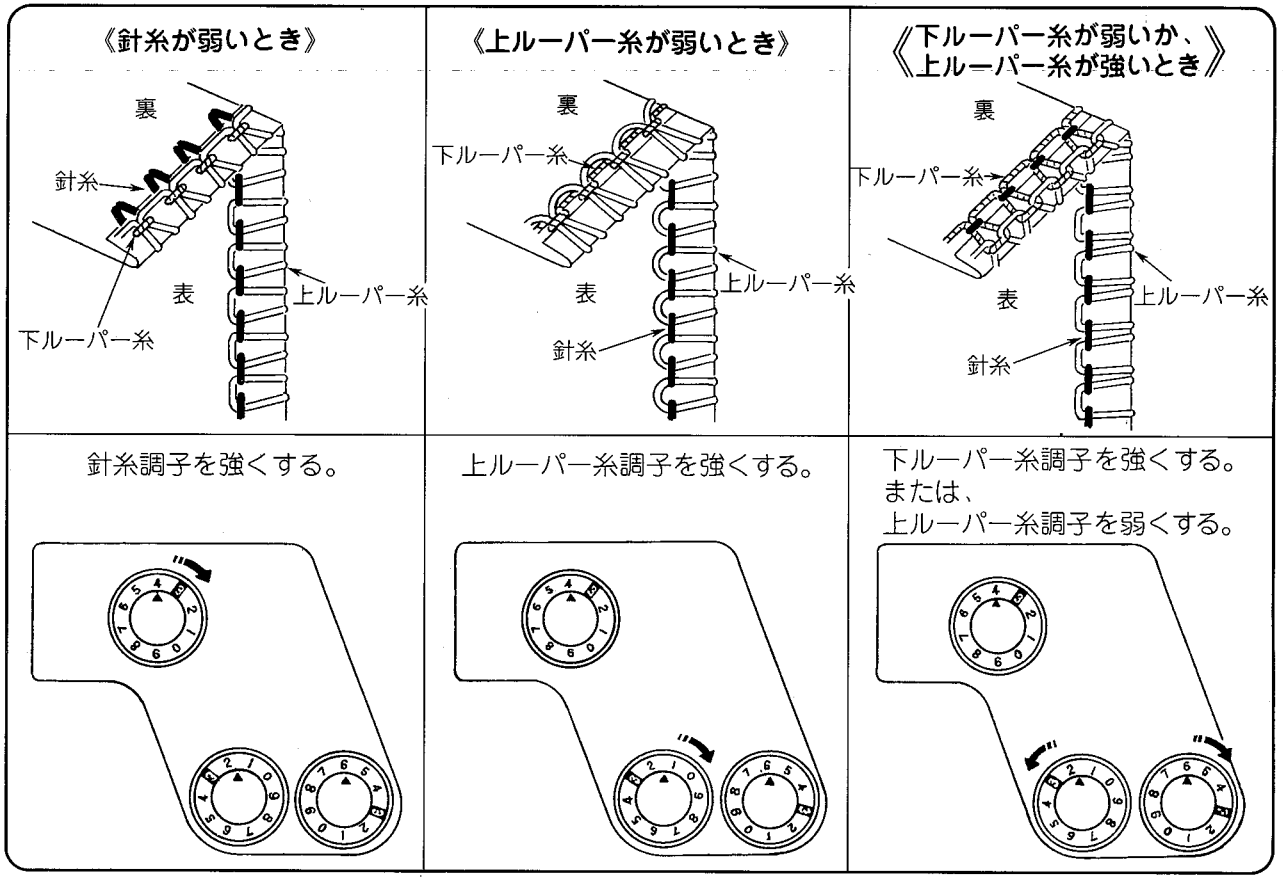


○布を軽く引きながら縫うと、きれいに仕上がります。

③正しい糸調子がとれないときは、糸調子の調節のし方にしたがって調節してください。

★糸調子の調節のし方

○巻き縫い・ピコ縫い

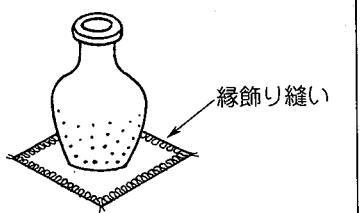


○細ロック縫い

糸調子の調節のし方は、「ふちかがり縫い」と同じです。（21～22ページを参照してください。）

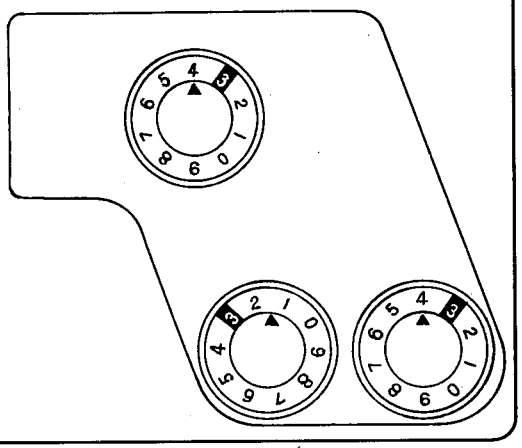
●縁飾り縫い

《実用例》



★布と糸の種類と糸調子の目安およびミシンのセット

＊糸調子器の目安は、布地の種類や糸の太さ、種類によって多少の調節を必要とすることがありますので、縫い目を見ながら各糸調子器で調整してください。

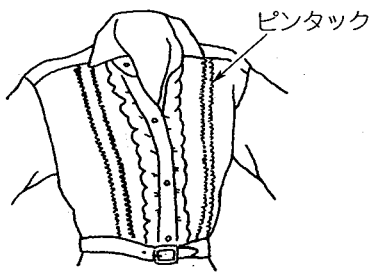
布	糸		糸調子の目安
普通の布 厚い布	針　糸	化繊糸　60番～80番	
	上ルーパー糸	飾り糸 極細毛糸	
	下ルーパー糸	化繊糸　60番～100番	

ミシンのセット			
	縫い目のあらさ（送り目盛）	3～4	
	かがり幅	3.5mm	5.0mm
	針　板	標準針板（針板裏の刻印：S）	広幅縫い用針板（針板裏の刻印：W）
	針	HAx1SP針　14番	

○糸調子の調節のし方は、ふちかがり縫いと同じです。（21～22ページを参照してください。）
○糸調子は、まず上の表の位置に糸調子を合わせ、それからふちかがり縫いと同じ要領で調節してください。
○太い糸を使用するとき、縫いはじめと縫いおわりは、から縫いした糸を軽く引きながら縫うと、きれいに仕上がります。（29ページを参照してください。）

●ピンタック

《実用例》



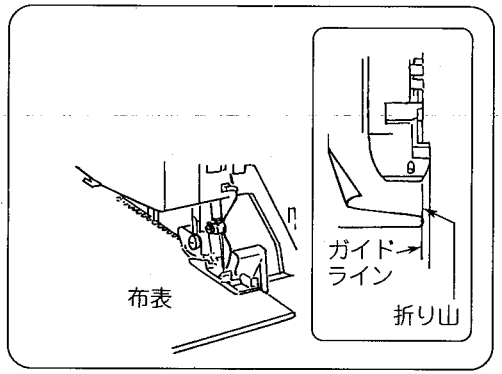
★布と糸の種類とミシンのセット

布	糸	
うすい布	針　糸	化繊糸　60番～80番
普通の布	上ルーパー糸 下ルーパー糸	化繊糸　60番～100番

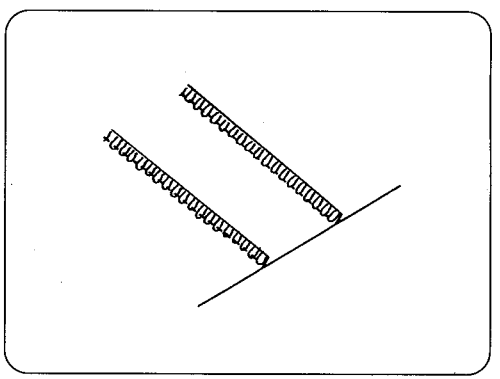
ミシンのセット	縫い目のあらさ（送り目盛）	2～3
	かがり幅	3.5㎜
	針　板	標準針板(針板裏の刻印：S)
	針	HAx1SP針 11番または 14番

＊糸調子の調節のし方は、「ふちかがり縫い」と同じです。
（21～22ページを参照してください。）

★縫い方

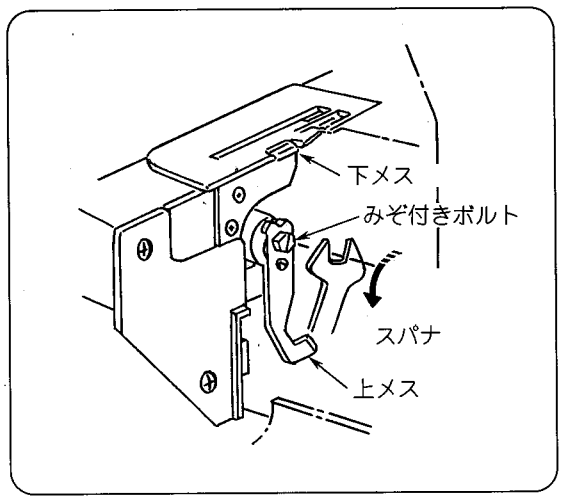


上メスを解除します。(24ページを参照してください。)
折り山がガイドラインにそうようにして縫います。



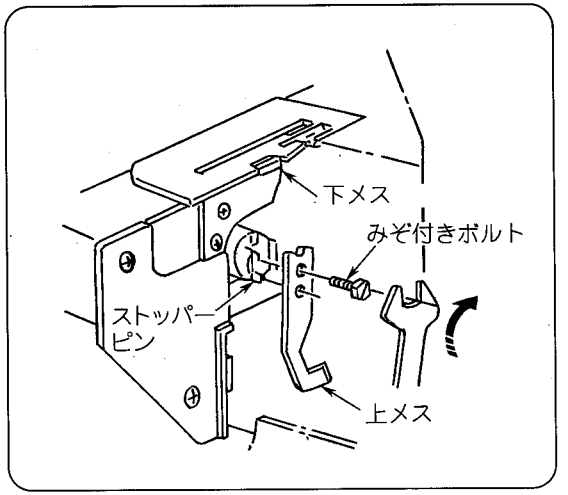
布をひらいて、アイロンで山を片側に倒します。
上メスをもとにもどします。(24ページを参照してください。)

●上メスの交換



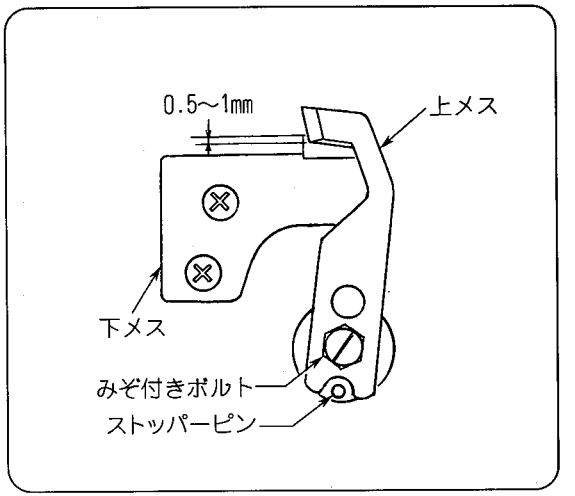
《取りはずし》

①電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。
②ルーパーカバーと布板をひらきます。
③上メスを解除します。
（24ページを参照してください。）
④みぞ付きボルトをスパナでゆるめ、上メスをはずします。



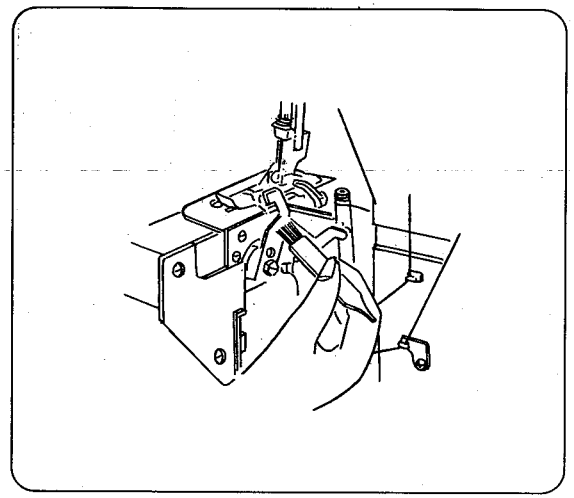
《取りつけ》

①上メスを、ストッパーピンとみぞにはめこんで、スパナでみぞ付きボルトを軽くしめます。



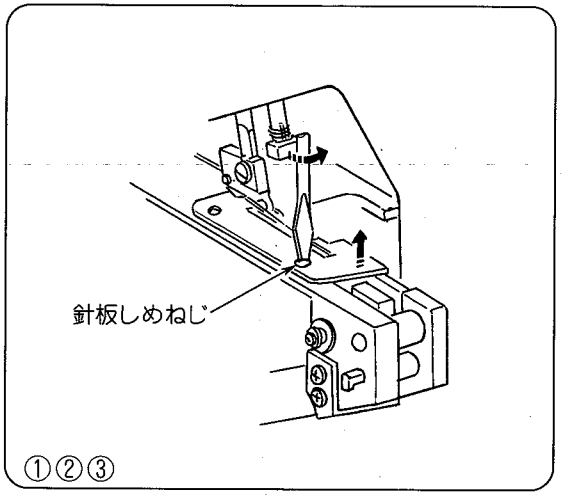
②上メスをもとの位置にもどします。
③はずみ車を手で回し、上メスが最もさがったとき、上メスと下メスとのかみ合いが0.5～1㎜となるように、上メスの位置を調節してみぞ付きボルトをスパナで、かたくしめます。
④ルーパーカバーと布板をしめます。

●切りくずの掃除

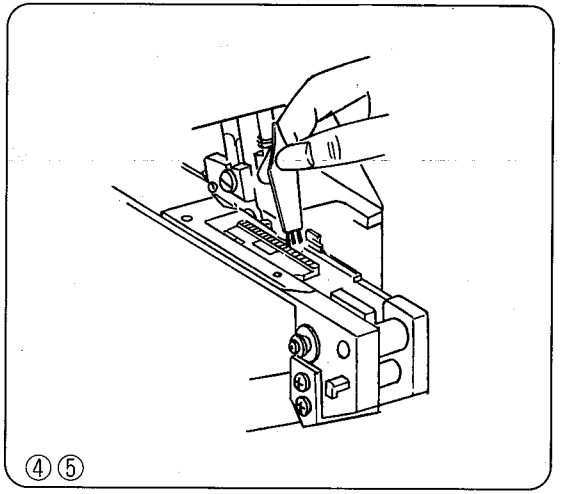


○ルーパーカバーをひらき、切りくずをブラシで取り除きます。

●送り歯の掃除



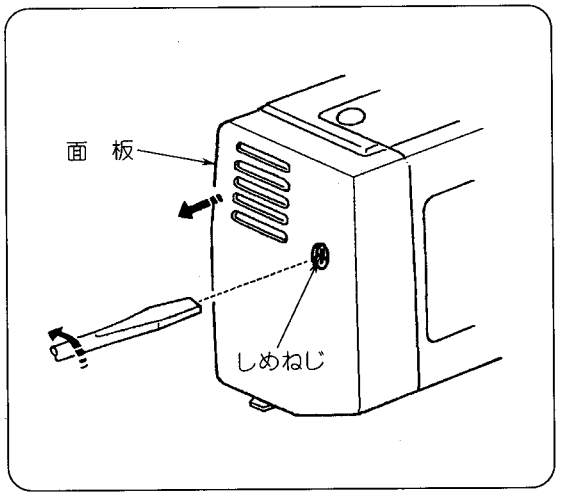
①ルーパーカバーと布板をひらきます。
②針と押えをはずします。
③針板しめねじをゆるめ、針板をはずします。



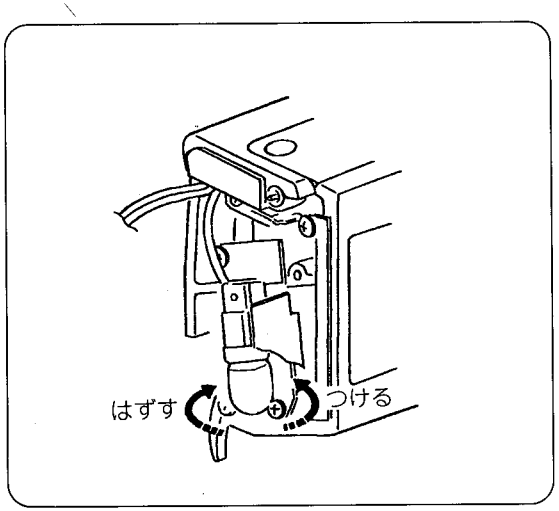
④送り歯のごみを、ブラシで落とします。
⑤針板、押え、針をとりつけ、ルーパーカバーと布板をしめます。

＊ブラシで掃除しにくい切りくずや、ほこりは、電気掃除機などで吸い取ってください。

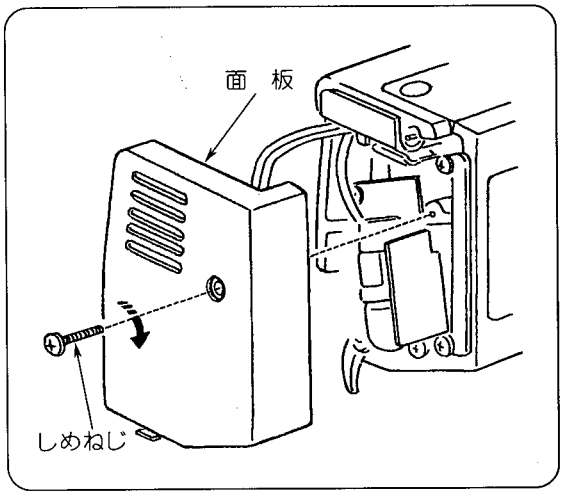
●電球のとりかえ方



①しめねじをゆるめ、面板をはずします。



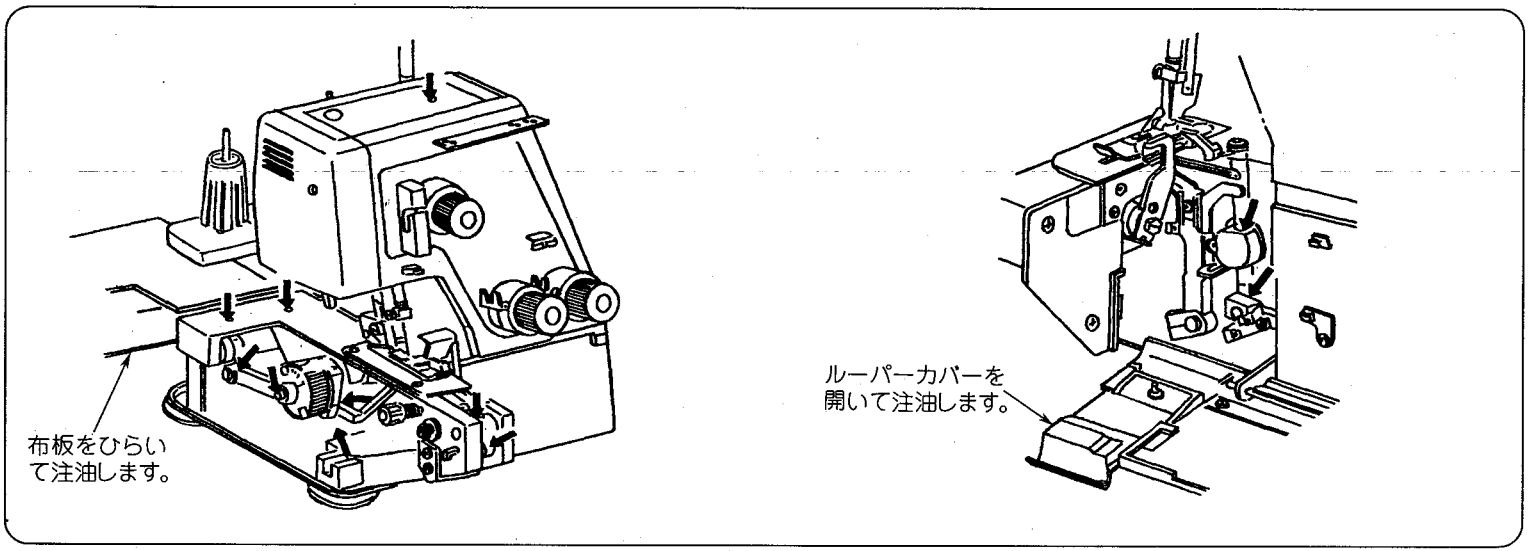
②電球をはずすとき……左に回します。
電球をつけるとき……右に回します。



③電球をとりかえおわったら、面板をとりつけます。

＊電球をとりかえるときは、電源プラグを抜いてから行ってください。
＊安全のため、電球を外した状態でミシンを使用しないでください。
＊電球（照明用100V－12W）は、ジャノメミシン直営支店でお求めください。

●注油のし方



矢印の個所に良質のミシン油を１～２滴注油し、注油後ミシンを１～２分ほど回転させて、よく油をしみこませます。
一般家庭では１週間に１度、継続して使用するときは、10時間に１回くらい。また、しばらく使用しなかったときは、
使う前に一通り注油してください。

●調子がよくないときの直し方

調子がよくない状態	原　　因	直　し　方
布地を送らない。	①押えがあがっている。	押えをおろす。
針が折れる。	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③布地を無理に引っぱった。	10ページ参照 10ページ参照 縫う時は軽く引く程度にする。
糸が切れる。	①糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 ②糸調子が強すぎる。 ③針のつけ方がまちがっている。 ④針がまがっていたり、針先がつぶれている。	12～18ページ参照 21～22、28～30ページ参照 10ページ参照 10ページ参照
縫い目がとぶ。	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。	10ページ参照 10ページ参照 12～18ページ参照
縫い目の調子が悪い。	①糸調子が強すぎるか、弱すぎる。 ②糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 ③針と糸が布に対して合っていない。 ④糸調子皿に、糸がきちんと入っていない。	21～22、28～30ページ参照 12～18ページ参照 20、28、30～31ページ参照 14、16、18ページ参照
縫い目がしわになる。	①糸調子が強すぎる。 ②糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 ③用途に合った針板を使用していない。	21～22、28～30ページ参照 12～18ページ参照 25ページ参照
ミシンがまわらない。	①コンセントにプラグがきちんとさしこまれていないか、つなぎ方がまちがっている。 ②電源スイッチがＯＦＦになっている。	６ページ参照 ＯＮにする。
布地の切れ味が悪い。	①メスのかみ合いがわるい。 ②刃先が摩耗している。	32ページ参照 上メスを交換する。

仕　様			
使用電圧	100V　50/60Hz	縫速度	毎分1300回転
消費電力	85W/ランプ12W	使用針	家庭用　HAX1　SP針11番・14番
外形寸法	幅33cmX奥行26cmX高さ27cm	縫い目あらさ	1～5mm
重量	6.8Kg（本体）	かがり幅	3.5mm又は5.0mm

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国１８０の直営支店で万全のアフターサービスをしております。
この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。
★お問い合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。
★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室　☎03（3277）2200
〒104-8311　東京都中央区京橋3-1-1

仙台支店　☎022（249）4161
〒982-0011　宮城県仙台市太白区長町5-3-25

富山支店　☎0764（31）8827
〒930-0029　富山県富山市本町3-25

池袋支店　☎03（3987）5266
〒170-0013　東京都豊島区東池袋1-28-7

千葉支店　☎043（222）5121
〒260-0012　千葉県千葉市中央区本町1-5-14

名古屋支店　☎052（733）5116
〒466-0027　愛知県名古屋市昭和区阿由知通1-12-3

大阪支店　☎06（6583）8031
〒552-0002　大阪府大阪市港区市岡元町3-1-4

尼崎支店　☎06（6481）2193
〒660-0893　兵庫県尼崎市西灘波町4-6-30

岡山支店　☎086（222）8896
〒700-0814　岡山県岡山市天神町1-26

観音寺支店　☎0875（25）2887
〒768-0060　香川県観音寺市駅通り甲1017-5

福岡西新支店　☎092（821）6495
〒814-0002　福岡県福岡市早良区西新2-6-2

(株) ジャノメ北海道販売
札幌本店　☎011（861）5634
〒003-0027　札幌市白石区本通3丁目北1-21

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ジャノメミシン
東京都中央区京橋３－１－１蛇の目ミシン工業（株）

784-800-010